

## 第3部 行政分野別計画



# 基本施策のページの見方

The screenshot illustrates the layout of a basic policy page, divided into several sections:

- Top Header:** 第3節 行政分野別計画 (Section 3, Administrative Sector-by-Sector Plan)
- Section 1: 1-1 健やかに成長できるまちづくり (1-1 Healthy Growth Community)**
  - 1 「1-1 健やかに成長できるまちづくり」が目指すビジョン (Vision of 1-1 Healthy Growth Community):** 文字と3枚の写真 (公園で遊ぶ子供たち、子育て支援センター、子育て支援センター外観)。
  - 2 「充実した子育て支援や、多様なニーズに対応した保育サービスの提供、子育てを支える基盤を整備することにより、子ども達が心身ともに安心して子育てできる環境をつくるとともに、青少年の社会的自己を支援し、乳幼児期から青年期までの健やかなまちを実現します。これにより、すべての子ども・若者が健やかに成長できるまちを実現します。」 (Text describing the vision).**
  - 3 写真 (Three photos: children playing in a park, a nursery facility, and its exterior).**
  - 4 目次 (Table of Contents):**
    - 1-1 健やかに成長できるまちづくり (64)
    - 1-2 子育て支援の充実 (66)
    - 1-3 保育環境の充実 (68)
    - 1-4 青少年の健全育成の推進 (68)
- Section 2: 深谷市が目指すSDGsのゴール (子育て分野) (Goals of SDGs Targeted by the City of Fukaya (Childcare Sector))**
  - 1. 幸福をなくすことなく (経済・社会) (No one is left behind (Economy・Society))
  - 2. 脱離をゼロに (経済・社会) (Poverty reduction and sustainable development goals are achieved)
  - 3. すべての人に健康と福祉を (社会) (Everyone has access to healthy and safe living environments)
  - 4. 質の高い教育をみんなに (社会) (Everyone has access to quality education)
  - 5. ジェンダー平等を実現しよう (社会) (Promote gender equality)
  - 6. 繁栄をもたらす経済成長を (経済・社会) (Everyone has a decent job and can work in conditions of freedom, equity, security, and stability)
  - 7. 和平と公正をすべての人に (社会) (Everyone has access to peace and justice)
  - 8. すべての人たちの持続可能な開発目標 (SDGs) を実現する (Sustainable Development Goals (SDGs))
  - 10. パートナーシップで目標を達成しよう (環境・経済・社会) (Everyone has access to a clean environment)
  - 11. 17の目標を達成する (SDGs) (Everyone has access to a clean environment)
- Section 3: 渋沢栄一が遺した功績や精神・考え方など (子育て分野) (Achievements and Spirit/Thoughts of涩澤栄一 (Childcare Sector))**
  - 1. 渋沢栄一は約500の企業の設立や運営に携わり、600以上の社会公共事業や教育、国際貿易などに携わりました。
  - 2. また、榮一は、日本最初の製糸会社の創立に携わり、明治21(1888)年に現在の渋谷市上原に工場が設立されました。この工場は明治39(1906)年に他の工場が設立され、日本で4番目、埼玉県内では初めての保育園と言われています。昭和16(1941)年に改めて恒徳保育園として開設され、翌年には社員のみならず、地域住民に開放されました。
  - 3. さらに、埼玉県初の児童福祉施設である埼玉育児院は、櫻仙の發展に強い思いをもつていた榮一による資金援助により、経営を軌道に乗せ、現在も子どもの心身の健やかな成長と自立を支援する施設として、活動を続けています。
- Right Side Navigation:**
  - 第3節 体験型基本計画 (Section 3, Experience-based Basic Plan)
  - まちのイメージ (Image of the city)
  - 健康でいきいきと暮らせるまち (Healthy and happy living city)
  - まちづくり (Community building)
  - まちのイメージ (Image of the city)

※基本施策のページでは、関連する情報をとりまとめ、行政分野ごとに「深谷市が目指すSDGsのゴール」と「渋沢栄一\*が遺した功績や精神・考え方など」を整理しています。

## ①渋沢栄一の功績や考え方

まちづくりを進める上で模範とする渋沢栄一の姿勢や大切にすべき考え方などをとりまとめています。

## ②目指すビジョン実現に向けた取組の方向性

基本施策に紐づく各個別施策の「5年後の目指す姿」をとりまとめ、基本施策が目指すビジョンの取組の方向性を示します。

## ③まちづくりのイメージ写真

基本施策が目指すまちづくりのイメージ写真を掲載しています。（「深谷市民の元気と笑顔写真」コンテストに投稿いただいた写真を含みます）

## ④施策体系

基本施策に紐づく個別施策と該当するページを記載しています。

## ⑤深谷市が目指すSDGsのゴール

個別施策の「SDGsとの関連:主に関係するゴール」にあるSDGsをとりまとめて記載しています。

## ⑥市民や事業者のみなさんが取り組めること

市民ワークショップの結果などを踏まえて、まちづくりを進める上で市民や事業者が取り組める内容を記載しています。

## ⑦渋沢栄一が遺した功績や精神・考え方など

渋沢栄一が遺した功績や大切にすべき考え方などを行政分野別にとりまとめています。

## 個別施策のページの見方

**第3部 行政分野別計画**

**1-1-1 子育て支援の充実**

**① 5年後の目標す姿**

充実した子育て支援サービスが提供され、誰もが地域の支えのもと、安心と豊かさを感じながら、子育てをしています。

**② まちづくり指標**

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
子育てがしやすいまちと感じている市民の割合	77.3%	80.0%

深谷市民まちづくりアンケートにおいて、中学生以下の子どもを持つ保護者の方が、「子育てがしやすいまちである」と答えた割合であり、子育て支援が充実しているかを感じる指標です。

扶養親子サポートセンター延べ支援件数 1,721件 1,721件

地域住民による相談の子育て援助活動である「ファミリーサポートセンター事業」の年間支援件数であり、地域における子育て支援がいかに強化されているかを感じる指標です。

児童虐待管理数 81件 81件

1年以内の児童虐待・深刻な地域問題における令和3年例数であり、いかに未然に防止されているかを感じる指標です。

**③ 施策を取り巻く社会状況**

全国的に毎年の生出数が減少する一方で、核家族化の進行、就労形態の多様化などにより、子育てに対するニーズは高まっています。社会経済状況が著しい変化などに伴い、子育て家庭の経済的困難や、孤立など問題となっています。

**④ 深谷市の現状と課題**

- 経済状況の停滞により、各家庭の経済的負担が増大しており、安心して子育てするために、子育て世代の経済的負担が求められています。
- ファミリーサポートセンターの利用者が増加し、緊急時の迎撃対応や、病弱の発かりなどに割り込むほか、子育て支援の充実により、子育てがしやすいまちと感じている市民の割合は増加しています。今後も、地域で安心して子育てするための多様なニーズへの対応が求められています。
- 児童虐待管理件数は若干の増加となっており、障害施設・連携施設を始め実際に児童虐待を防ぐ地道な対応が必要です。子育て家庭の困難や孤立などを背景として児童相談も増加しており、今後ますます子育て不安の軽減が求められています。市内17カ所に設置している子育て支援センターのほか、子育て中の親子が交流し、子育てで団結できることを相談できる場が求められています。

**⑤ 取組方針**

子育ての経済的負担を軽減します  
子育て世代が地域で安心して子育てすることができるよう、経済的な支援を多角的に推進します。医療費助成や就業支援など家庭の状況に応じた経済的支援に加え、深谷市の独自事業として、5歳児世帯への支援金(地域通貨ギギー)の支給などを行います。

**⑥ 主な事業**

こども支援費支給事業、児童手当支給事業、母子家庭等自立支援事業、0歳児子育て支援金支給事業

**⑦ 関連する個別計画**

第2期深谷市子ども・子育て支援事業計画(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)

**⑧ SDGsとの関連：主に関係するゴール**

ゴール	ターゲット
1. 持続可能な社会の実現	1, 2, 3, 4
2. 経済成長と社会の持続可能な開発	1
3. 健康な地球を守る	2
4. 持続可能な開発目標	2
5. 経済成長と社会の持続可能な開発	4
16. 持続可能な開発目標	1, 2
17. 世界平和と持続可能な開発	17

### ① 5年後の目標す姿

個別施策の目標として、5年後に実現したいまちの姿を記載しています。

### ② まちづくり指標

「目指す姿」の達成状況を定量的に測るための代表的な指標を設定しています。原則として、現状値は令和3(2021)年度、目標値は令和9(2027)年度(後期基本計画の最終年度)の数値を記載しています。

### ③ 施策を取り巻く社会状況

個別施策に関する社会の現状を記載しています。

### ④ 深谷市の現状と課題

個別施策に関する本市のこれまでの取組や目指す姿の実現のために解決すべき主要な課題を記載し、関連図表を掲載しています。

### ⑤ 取組方針

④で記載した課題を解決し、目指す姿を実現するための対応方針を記載しています。

### ⑥ 主な事業

取組方針に沿って実施する主な事業を記載しています。

### ⑦ 関連する個別計画

個別施策に関連する個別計画を掲載しています。

### ⑧ SDGsとの関連：主に関係するゴール

SDGsの17ゴールおよび169ターゲットのうち、個別施策に関連するアイコンおよび番号を記載しています。



ふっかちゃんと遊ぼ



薰風に舞う

### まちのイメージ ①

## 健康でいきいきと暮らせるまち (子育て・保健・福祉)



スピайдーマンになりきって  
決めポーズ！



深沢栄一体操開催中！





見つめ合う固い絆！



元気！ジャンプ！！



笑いの神降臨！！



深谷テラス ヤサイな  
仲間たちファームでヨガ



見てみてー！



1-1

# 健やかに成長できるまちづくり

## 「1-1 健やかに成長できるまちづくり」が目指すビジョン

児童福祉施設への経済支援などを通じて、子どもたちが安心で安全な生活を送るための支援を進めた栄一の姿勢を模範にしながら、以下の取組を実践します。

充実した子育て支援や、多様なニーズに対応した保育サービスの提供、子育てを支える基盤を整備することにより、子育て家庭が心身面・経済面ともに安心して子育てできる環境をつくるとともに、青少年の社会的自立を支援し、乳幼児期から青年期までの健やかな育ちを支えます。

これにより、すべての子ども・若者が健やかに成長できるまちを実現します。



公園で遊ぶ親子



子育て支援センター・みらい幼稚園おかべ



学童保育室

1-1

### 健やかに成長できるまちづくり

1-1-1 子育て支援の充実 ..... 64

1-1-2 保育環境の充実 ..... 66

1-1-3 青少年の健全育成の推進 ..... 68



## 深谷市が目指すSDGsのゴール(子育て分野)

<b>1 貧困をなくそう</b>	<b>①貧困をなくそう(経済、社会)</b> あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	<b>2 飢餓をゼロに</b>	<b>②飢餓をゼロに(経済、社会)</b> 食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
<b>3 すべての人に健康と福祉を</b>	<b>③すべての人に健康と福祉を(社会)</b> あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	<b>4 質の高い教育をみんなに</b>	<b>④質の高い教育をみんなに(社会)</b> すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習*の機会を促進する
<b>5 ジェンダー平等*を実現しよう</b>	<b>⑤ジェンダー平等*を実現しよう(社会)</b> ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	<b>8 働きがいも経済成長も</b>	<b>⑥働きがいも経済成長も(経済、社会)</b> すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用を推進する
<b>16 平和と公正をすべての人に</b>	<b>⑯平和と公正をすべての人に(社会)</b> 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する	<b>17 パートナーシップで目標を達成しよう</b>	<b>⑰パートナーシップ*で目標を達成しよう(環境、経済、社会)</b> 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

**市民や事業者のみなさんを取り組めること**

- 放課後や朝夕の登下校の見守りなど、住んでいる地域で子どもたちの見守り活動を行う。
- 虐待かなど疑いのある場面を見かけたら、すぐに虐待対応ダイヤル「189」などに連絡をする。



**渋沢栄一\*が遺した功績や精神・考え方など(子育て分野)**

- 栄一は約500の企業の設立や運営に関わり、600以上の社会公共事業や教育・国際親善などに携わりました。
- また、栄一は、日本煉瓦製造会社の設立に関わり、明治21(1888)年に現在の深谷市上敷免に工場が設立されました。この工場には明治39(1906)年に専用の保育園が設立され、日本で4番目、埼玉県内では初めての保育園と言われています。昭和18(1943)年に改めて恒徳保育園として開設され、翌年には社員のみならず、地域の児童を受け入れました。
- さらに、埼玉県初の児童福祉施設である埼玉育児院は、福祉の発展に強い思いをもつていた栄一による資金援助により、経営を軌道に乗せ、現在も子どもの心身の健やかな成長と自立を支援する施設として、活動を続けています。



# 子育て支援の充実

## 5年後の 目指す姿

充実した子育て支援サービスが提供され、誰もが地域の支えのもと、安心と喜びを感じながら、子育てをしています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
子育てがしやすいまちと感じている市民の割合	77.3%	80.0%
深谷市民まちづくriアンケートにおいて、中学生以下の子どもを持つ保護者の方が、「子育てしやすいまちである」と答えた割合であり、子育て支援が充実しているかを測る指標です。		
ファミリーサポートセンター延べ支援件数	1,721件	1,721件
地域住民による相互の子育て援助活動である「ファミリーサポートセンター事業」の年間支援件数であり、地域における子育て支援が実施されているかを測る指標です。		
児童虐待管理数	81件	81件
1年間の要保護児童対策地域協議会における管理事例数であり、虐待が未然に防止されているかを測る指標です。		

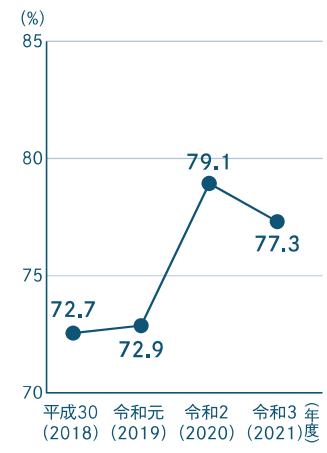
## 施策を取り巻く社会状況

全国的に毎年の出生数が減少する一方で、核家族化の進行、就労形態の多様化などにより、子育てに対するニーズは高まっています。社会経済状況の著しい変化などに伴い、子育て家庭の経済的困窮や、孤立などが問題となっています。

## 深谷市の現状と課題

- 経済状況の停滞により、各家庭の経済的負担が増大しており、安心して子育てするために、子育て世帯の経済的負担の軽減が求められています。
- ファミリーサポートセンターの利用者が増加し、緊急時の送迎対応や、病児の預かりなどに取り組むほか、子育て支援の拡充により、子育てしやすいまちと感じている市民の割合は増加しています。今後も、地域で安心して子育てするための多様なニーズへの対応が求められています。
- 児童虐待管理数は若干の増加となっており、関係機関と連携を取り未然に児童虐待を防ぐなど迅速な対応が必要です。子育て家庭の困窮や孤立などを背景として児童相談も増加しており、今後ますます子育て不安の軽減が求められています。市内17カ所に設置している子育て支援センターのほか、子育て中の親子が交流し、子育てや困りごとを相談できる場が求められています。

子育てがしやすいまちと感じている市民の割合



## 取組方針

### 1 子育ての経済的負担を軽減します

子育て世帯が地域で安心して子育てすることができるよう、経済的な支援を多角的に推進します。医療費助成や就業支援など家庭の状況に応じた経済的支援に加え、深谷市の独自事業として、0歳児世帯への支援金（地域通貨ネギー\*）の支給などを行います。

**【主な事業】**

子ども医療費支給事業、児童手当支給事業、母子家庭等自立支援事業、0歳児子育て支援金支給事業

### 2 地域における子育て支援を行います

地域で子どもたちが安心して生活できるよう、民生委員・児童委員を中心に地域の見守りを継続して実施します。また、地域住民による相互の子育て援助活動であるファミリーサポートセンター事業の充実を図り、地域住民同士の助け合いを活発にし、利用しやすいサービス環境を整えます。

**【主な事業】**

子育て支援推進事業

### 3 子育ての不安を軽減します

子育ての不安や悩みを気軽に相談できるよう、子ども家庭総合支援拠点、家庭児童相談室など、窓口における支援体制を充実するほか、家庭訪問を実施します。また、児童虐待を未然に防止するため、関係機関と連携を図りながら支援します。子育て支援センターなどでは、子育ての相談のほか、子どもの遊び場の提供や保護者の交流を支援します。さらに、子育てを支える交流の場を新たに整備します。

**【主な事業】**

児童福祉推進事業、児童相談・虐待防止事業、地域子育て支援拠点事業

## 関連する個別計画

- 第2期深谷市子ども・子育て支援事業計画（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	1 貧困をなくす 	2 飲食をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 箕の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
ターゲット	1, 2, 3, 4	1	2	2	4	1, 2	17



# 保育環境の充実

## 5年後の 目指す姿

子育てを支える基盤を整備することにより、待機児童数ゼロが維持されており、子育て世代の多様なニーズに対応した保育サービスが実施されています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
仕事と子育ての両立ができると思う市民の割合	77.5%	80.0%
深谷市民まちづくriアンケートにおいて、小学生以下の子どもを持つ保護者の方が、「仕事と子育てを両立できる」と答えた割合であり、保育環境が充実しているかを測る指標です。		
認可保育園の待機児童数	0人	0人
保育園申込者のうち、保育園に入れない子どもの数であり、保育環境が充実しているかを測る指標です。		
学童保育室の待機児童数	0人	0人
学童保育室申込者のうち、学童保育室に入れない子どもの数であり、保育環境の充実度を測る指標です。		

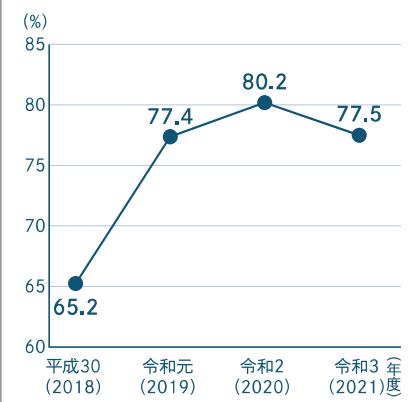
## 施策を取り巻く社会状況

子どもの人口は全国的に減少傾向にあります。一方、核家族化の進行や共働き世帯の増加、保護者の就労形態の多様化などに伴い、保育園や学童保育室の利用ニーズが高まっています。また、一時保育、延長保育、病後児保育など、多様化する保育ニーズへの対応も求められています。さらに、各種保育サービスの利用に伴う家計の負担が増大しています。

## 深谷市の現状と課題

- 保育施設や学童保育室への入園入室希望は増加傾向にありますが、受け皿の確保に取り組んだ結果、令和元(2019)年度以降は待機児童数ゼロを達成しています。今後も、保育ニーズを的確に捉え、保育定員や人材の確保を図る必要があります。
- 保育ニーズの多様化により、一時保育、延長保育、病後児保育への対応のほか保育料などの負担軽減が求められています。

仕事と子育ての両立ができると思う市民の割合



## 取組方針

### 1 子育てを支える基盤を整備します

保育に対するニーズを的確に把握し、保育施設や学童保育室の定員確保を図ることで、待機児童ゼロを継続します。また、職員の待遇改善などを考慮して人材確保に努めること及び研修などの充実を図ることで保育環境の充実と質の向上を図ります。

**【主な事業】**

公立保育施設運営事業、私立保育施設運営事業、私立保育施設整備費補助事業、公立学童保育室運営事業、私立学童保育室運営事業

### 2 多様な保育ニーズに対応します

就労形態や家庭環境の変化による多様な保育ニーズに対応するため、一時保育、延長保育、病後児保育を実施します。また、保育施設に通う児童に対して、保育料完全無償化など、深谷市独自の保育料軽減事業を実施し、保護者の経済的負担軽減を図ります。

**【主な事業】**

公立保育施設運営事業、私立保育施設運営事業、子ども・子育て支援交付金事業

## 関連する個別計画

- 第2期深谷市子ども・子育て支援事業計画(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	4 質の高い教育をみんなに	8 働きがいも経済成長も
ターゲット	2	5



保育園で遊ぶ子どもたちの様子

# 青少年の健全育成の推進

## 5年後の 目指す姿

青少年が規範意識を持ち、社会の一員として成長できるように地域全体で取り組み、青少年の社会的自立を支援しています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
地域で子どもを育む活動をしている市民の割合	19.9%	27.0%
深谷市民まちづくriアンケートにおいて、「ボランティア活動、スポーツの指導、子ども会やPTA活動など、地域で子どもを育む活動に参加している」と答えた市民の割合であり、地域における青少年を育成する体制が整っているかを測る指標です。		
青少年の補導件数	291件	190件
1年間に深谷・寄居警察署が確認した補導件数であり、地域全体で青少年の健全な育成が支援できているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

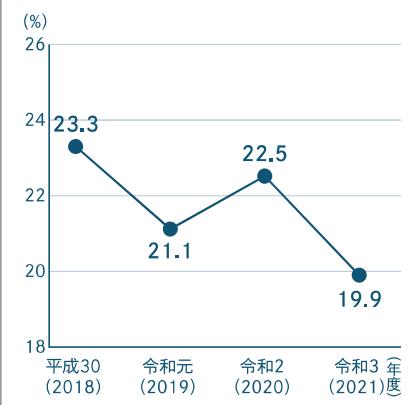
少子化の進行や情報化社会の進展、民法の改正による成年年齢の引き下げなどにより、家庭、学校、地域における青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。特に、スマートフォンなどの急速な普及に伴い、各種メディアなどが提供する情報は青少年の健全な育成を阻害するおそれのあるものが多く、青少年がこれまでにない事件やトラブルに巻き込まれる危険性が高まっています。

また、引きこもりやニートなど社会生活を円滑に営む上で困難を抱える青少年の増加、引きこもりの長期化も問題となっています。

## 深谷市の現状と課題

- 青少年の健全育成を目的として活動する深谷市子どもサポート市民会議の活動を支援し、パトロールなどの非行防止活動などを実行ほか、青少年健全育成深谷市民大会において啓発活動を推進しています。こうした活動を通じて、地域の大人や学校・家庭が、地域社会の役割や家庭教育の重要性を再確認し、地域全体で青少年を見守り、育てる必要です。
- 引きこもりやニートなど社会への適応が難しい青少年に対して、相談窓口を設置し、関係機関と連携しながら、自立に向けて支援しています。今後も、青少年の悩みに耳を傾け不安を軽減する支援が求められています。

地域で子どもを育む活動をしている市民の割合



## 取組方針

### 1 青少年の健全育成のための活動を支援します

次代を担う青少年が、社会の一員として自覚と責任を持って社会生活を送ることができるよう、青少年の健全育成のための活動を行っている関係団体を支援します。また、関係団体と協力し、青少年が自らの考えを主張し、地域住民がその主張を聞く機会を提供します。

#### 【主な事業】

青少年健全育成環境づくり事業

### 2 青少年の悩みや不安を軽減する支援をします

引きこもりやニートなど社会への適応が難しい青少年に対して、心身ともに健康で社会的に自立することを目的に、相談窓口を実施します。また、青少年や家族の悩み事や不安の軽減、関係者の理解と適切な対応を促すため、講演会などを実施します。

#### 【主な事業】

青少年相談支援事業

## 関連する個別計画

- 第2期深谷市子ども・子育て支援事業計画(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>3</b> すべての人に 健康と福祉を	<b>8</b> 働きがいも 経済成長も	<b>17</b> パートナーシップで 目標を達成しよう
ターゲット	2, 4	5, 6	17



こども学びスタin深谷

1-2

## 健やかで元気に暮らせるまちづくり

### 「1-2 健やかで元気に暮らせるまちづくり」が目指すビジョン

病気の研究や医療活動の支援を通じて、誰もが健康でいられるよう尽力した栄一の姿勢を模範にしながら、以下の取組を実践します。

あらゆる年齢の人々が、心と体の健康を大切にし、健康的な生活を実践するなど、健康づくりを応援する仕組みづくりを進めるとともに、誰もが安心して必要な医療を受けられるよう、地域医療体制の充実を図ります。

これにより、誰もが健康でいきいきと暮らし続けられるまちを実現します。



乳幼児健診



健康づくりに関する取組



健康づくり応援店登録マーク

1-2

### 健やかで元気に暮らせるまちづくり

1-2-1

健康づくりの推進 ..... 72

1-2-2

地域医療体制の充実 ..... 74



## 深谷市が目指すSDGsのゴール(保健分野)



### ②飢餓をゼロに(経済、社会)

食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



### ③すべての人に健康と福祉を(社会)

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



### ⑩人や国の不平等をなくそう(経済)

国内及び国家間の格差を是正する

17



パートナーシップで  
目標を達成しよう

### 市民や事業者のみなさんを取り組めること

- 健康づくりのためにウォーキングや自転車通勤を行うなど、日頃から適度な運動をすることを心掛ける。
- 病気の予防や早期発見、早期治療に繋げるため各種健(検)診を受けるほか、病気や健康問題を気軽に相談できる、かかりつけ医\*を持つ。



## 渋沢栄一\*が遺した功績や精神・考え方など(保健分野)

- 栄一は、病気の研究や医療活動を積極的に支援しました。当時不治の病と恐れられていた結核の撲滅を目指し、近代日本医学の父・北里柴三郎が提唱し設立された日本結核予防協会では副会頭に就任し、感染症予防を後押ししました(財団法人化後は会頭に就任)。
- また、栄一は、できるだけ多くの国民が医療にかかることができるようという思いから、医療福祉機関に対しても多額の寄附を行いました。特に、東京養育院のほか、日本赤十字社、東京慈恵会、聖路加病院(現在の聖路加国際病院)、済生会などを支援しました。
- 晩年は、「坂本屈伸道」と呼ばれる運動による健康法を取り入れ、健康維持に努め、91歳の長寿をまとうしました。



# 健康づくりの推進

## 5年後の 目指す姿

健康的な生活を送るための知識を得て実践するとともに、地域で健康づくりを応援する仕組みが進み、あらゆる年齢の人々が、心と身体の健康を大切にした生活を送っています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
普段の生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合	60.6%	73.1%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「運動や歩くことなど普段の生活で健康づくりに取り組んでいる」と答えた市民の割合であり、市民の自主的な健康づくりと疾病予防が行われているかを測る指標です。		
定期的に健診などを受ける市民の割合	77.5%	80.7%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「定期的に健康診断や人間ドック、がん検診のいずれかを受けている」と答えた市民の割合であり、病気の早期発見・早期治療につながるための行動をとっているかを測る指標です。		
乳幼児健診の平均受診率	97.6%	99.1%
乳幼児健診対象児のうち、乳幼児健診を受診した乳幼児の割合であり、母子の健やかな生活に向けた支援が行われているかを測る指標です。		

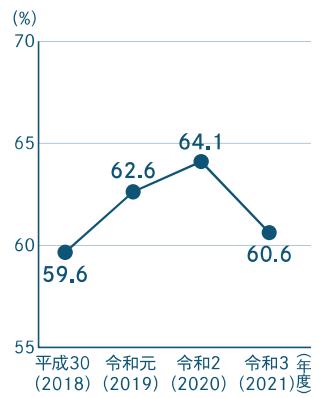
## 施策を取り巻く社会状況

少子高齢化が進む中、健康寿命\*の延伸や子どもが健やかに生まれ育つための支援が重要となっています。健診などの未受診や運動・スポーツの機会が減少するなど、疾病の早期発見・早期治療、健康づくりなどへの影響が指摘されています。また、核家族化や地域のつながりが希薄化する中、妊娠婦への支援や交流が不足し、孤立して悩みを抱えやすい状況があります。

## 深谷市の現状と課題

- 普段の生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合は60.6%であり、今後もあらゆる年齢の人々のライフスタイルに沿った健康づくりを支援するため、官民協働による健康づくりの取組が重要となっています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、改めて感染症対策が重視されるとともに、心の健康づくりに取り組んでいくことも必要です。
- 定期的に健診などを受ける市民の割合は77.5%ですが、がん検診などの受診率は低く停滞しており、自分の健康状態を知り、健康リスクの早期発見、重症化予防をすることが必要となっています。
- 乳幼児健診の受診率向上のため、受診勧奨を実施し、子育て期のさまざまな悩みの軽減に努めており、今後も、妊娠期から子育て期を母子とともに健やかに過ごせるよう、切れ目ない支援が重要となっています。

普段の生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合



## 取組方針

### 1 市民の健康づくりを地域全体で応援します

個人のライフスタイルに沿って取り組める健康づくりとして、疾病予防はもちろんのこと、歩くことを中心とした運動実践や、食習慣の改善、心の健康づくりを推進します。また健康づくり応援店などの官民協働による健康づくり支援を推進し、地域で健康づくりを応援する仕組みづくりに取り組みます。

#### 【主な事業】

健康づくり応援事業、予防接種事業

### 2 健診などの受診機会をつくります

より多くの市民が定期的に健診などを受診できるよう、市民ニーズにあった健診などの機会を設けるとともに、人間ドックや脳ドックの健診費用の助成を拡大するなど、受診しやすい環境づくりに取り組みます。また、健診などの重要性についての理解が深められるよう周知・啓発を推進します。さらに、リスクが認められた場合には、精密検査や治療につながるよう支援します。

#### 【主な事業】

健康診査事業、特定健康診査等事業、がん検診事業、成人保健指導事業、歯科保健指導事業

### 3 妊産婦・乳幼児への切れ目ない相談支援を実施します

子どもを安心して産み育てることができるよう、妊娠期からの相談支援により、妊産婦健診の重要性の周知や産後うつなどの予防に努めます。また、乳幼児健診の受診勧奨を行い、乳幼児及び保護者の健康の保持増進を支援します。

#### 【主な事業】

母子健康包括支援事業、乳幼児健康支援事業、未熟児養育事業

## 関連する個別計画

- 第2次深谷市健康づくり計画(平成30(2018)年度～令和7(2025)年度)
- 深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画(平成26(2014)年12月策定)
- 第3期深谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画(平成30(2018)年度～令和5(2023)年度)
- 第2期深谷市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(平成30(2018)年度～令和5(2023)年度)
- 深谷市自殺対策計画(令和元(2019)年度～令和6(2024)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>2 飢餓をゼロに</b>	<b>3 すべての人々に健康と福祉を</b>	<b>10 人や国の不平等をなくそう</b>
ターゲット	2	1,2,3,4,5,7,8,a	4



# 地域医療体制の充実

5年後の  
目指す姿

地域医療サービスと救急医療体制が整い、  
誰もが安心して必要な医療を受けられています。

## まちづくり指標

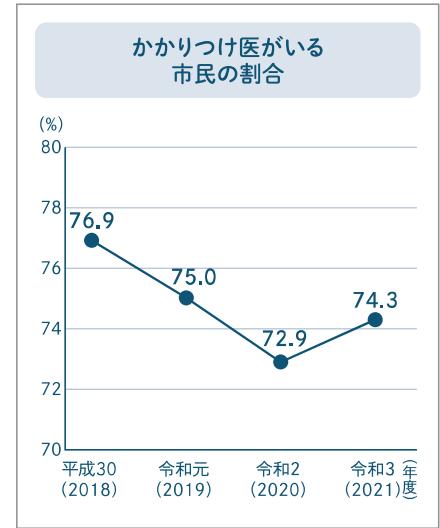
指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
かかりつけ医*がいる市民の割合	74.3%	79.9%
深谷市民まちづくriアンケートにおいて、「かかりつけのお医者さんがいる」と答えた市民の割合であり、地域で医療サービスが受けられているかを測る指標です。		
24時間対応診療日数(第二次救急医療)	365日	365日
休日、夜間に第二次救急医療に指定された病院において診療が受けられる日数であり、救急医療体制が充実しているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

市民の健康的な生活を実現するため、地域医療体制を確保することは非常に重要です。現在、医師不足による医療体制の縮小や救急患者の増加、患者の大病院志向など、地域医療にはさまざまな課題が山積しています。そのような中、日常生活で地域の診療所などによるきめ細かな健康管理を行うことが推奨されています。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う医療体制の逼迫、医療関係者などへの感染の広がりによる人的不足に伴い、通常診療への影響も見られます。

## 深谷市の現状と課題

- かかりつけ医がいる市民の割合が伸び悩んでいることから、今後も市民に対し「かかりつけ医の大切さ」や「医療機関の適正受診」について、さまざまな機会を通じて積極的に情報発信していく必要があります。併せて、地域で医療が適切に提供できる体制の整備が必要です。
- 第二次救急医療及び休日診療所・こども夜間診療所は、年間を通じて維持していますが、小児科医や麻酔科医をはじめ医師が不足している現状があります。また、感染症対応と並行して、通常診療を継続する中、医師などの人手不足が深刻化しています。今後も、医師不足の解消に向けて、地域医療を支える医師の確保とともに救急医療機関の適切な利用を啓発し、救急医療体制のさらなる充実が求められています。



## 取組方針

### 1 地域で医療サービスが受けられる体制の充実を図ります

深谷寄居医師会と連携し、在宅当番医制や休日診療所・こども夜間診療所の運営など、休日や夜間の初期救急医療体制の維持・充実を図るとともに在宅医療など地域で医療サービスが受けられる体制の充実を図ります。また、介護事業者をはじめとした関係機関と医療機関との連携を推進し、病状が悪化する前に地域で治療が受けられる体制の充実を図ります。さらに、医療機関の適正受診を進めるため、診療所などと総合病院の役割分担について、市民の理解を深める取組を推進するとともに、日頃の健康管理や診療をしてくれる「かかりつけ医」について、普及啓発を図ります。

#### 【主な事業】

地域医療推進事業、救急医療体制整備事務

### 2 救急医療体制の充実を図ります

県や近隣の市町と連携し、広域医療圏における二次・三次救急医療体制の維持・確保を図ります。また、適切な救急医療の利用を促進するため、「救急電話相談」の認知度を高めるなど、啓発活動の充実を図ります。

さらに、感染症対応の視点も含めた医療提供体制の確保や医師不足の解消に向けて、地域医療を支える医師の確保を引き続き実施します。

#### 【主な事業】

救急医療体制整備事務、医師確保推進事業

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>3 すべての人に 健康と福祉を</b>
ターゲット	1, 3



深谷寄居医師会 休日診療所こども夜間診療所

1-3

# 地域で支え合って生活できるまちづくり

## 「1-3 地域で支え合って生活できるまちづくり」が目指すビジョン

社会福祉事業を実業家としての当然の仕事とみなし、近年重視されるCSR\*(企業の社会的責任)に通じる考え方を大切にしながら、以下の取組を実践します。

高齢者や障害のある人が住み慣れた地域で必要な支援を受け、互いに支え合い、生きがいを持ちながら自分らしい生活を送るための仕組みづくりを進めます。

これにより、誰もが地域で安心して、自分らしく暮らせるまちを実現します。



ふかや福祉健康まつり



深谷ふっかつ体操



深谷市手話言語条例

1-3

### 地域で支え合って生活できるまちづくり

1-3-1

#### 地域福祉の推進

78

1-3-2

#### 高齢者福祉の推進

80

1-3-3

#### 障害者福祉の推進

82



## 深谷市が目指すSDGsのゴール(福祉分野)

<b>1 貧困をなくそう</b>	<b>①貧困をなくそう(経済、社会)</b> あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	<b>2 飢餓をゼロに</b>	<b>②飢餓をゼロに(経済、社会)</b> 食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
<b>3 すべての人に健康と福祉を</b>	<b>③すべての人に健康と福祉を(社会)</b> あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	<b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b>	<b>⑤ジェンダー平等*を実現しよう(社会)</b> ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女兒のエンパワーメントを図る
<b>8 働きがいも経済成長も</b>	<b>⑧働きがいも経済成長も(経済、社会)</b> すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用を推進する	<b>10 人や国の不平等をなくそう</b>	<b>⑩人や国の不平等をなくそう(経済)</b> 国内及び国家間の格差を是正する

<b>17 パートナーシップで目標を達成しよう</b>	<b>市民や事業者のみなさんを取り組めること</b> ●ボランティアや地域の活動を通じて、助け合いの輪を広げるとともに、高齢者や障害のある人との関わりを通じて理解を深める。	
-----------------------------	---	--

<b>渋沢栄一*が遺した功績や精神・考え方など(福祉分野)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●栄一の母えいは、栄一を慈しみ深く育て、弱き人々にものを施すなど慈悲深い人でした。その母の影響により、栄一は社会福祉・医療事業に積極的に取り組みました。</li> <li>●特に、「東京養育院」(現在の東京都健康長寿医療センター)では、生活困窮者や身寄りのない児童を保護し、医療や児童福祉、障害者福祉や高齢者介護など利用者にあった施設をつくり、亡くなるまで約50年以上院長を務めました。</li> <li>●明治期の社会福祉事業は、孤児や遺児の保護などを民間の宗教家や篤志家が中心となって行っていました。こうした活動は次第にその範囲を広げ、明治36(1903)年に「日本慈善同盟会」の設立が決定され、その後、会の名称を「中央慈善協会」(現在の全国社会福祉協議会の前身の一つ)に改め、栄一は初代会長に就任しました。</li> <li>●栄一は、経済の豊かさに反比例して増加する生活困窮者を支援する意義を説き、法制度の改善や救済事業の連携・組織化を推進しました。</li> <li>●生涯を通じて多くの寄附を行った栄一の寄附活動の特色は、1人が巨額の支援を行うではなく、多くの人々の参加を勧めることでした。栄一は、寄附者名簿の最初に自らの氏名と金額を明示する方法で、財界人や企業に回覧し、多くの人々の協力を促しました。</li> </ul>	

# 地域福祉の推進

5年後の  
目指す姿

住み慣れた地域で、互いに支え合うための取組が活発に行われることによって、市民一人ひとりがそれぞれの状況に応じて自立した生活を送っています。

## まちづくり指標

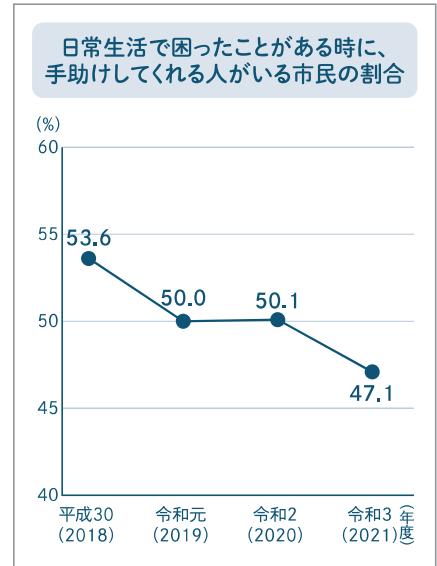
指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
日常生活で困ったことがあったときに手助けしてくれる人がいる市民の割合	47.1%	50.0%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「民生委員・児童委員や自治会など、地域に手助けをしてくれる人がいる」と答えた市民の割合であり、ともに支え合う地域福祉体制が整っているかを測る指標です。		
生活困窮者支援プラン作成者の就労・増収率	73.9%	75.0%
生活困窮者自立相談支援事業において、就労支援を対象としたプラン作成者のうち、一般就労を開始した方又は就労収入が増加した方の割合であり、生活困窮者の自立が支援されているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

少子高齢化や核家族化の進行や地域社会の連帯意識の希薄化が進む中、地域福祉ニーズは多様化するとともに、子ども・障害のある人・高齢者などがさまざまな理由により、複合的な課題を抱え、社会的孤立や孤独を感じる人が増加しています。公的サービスだけでの対応は困難となり、市民が地域で支え合う社会づくりが課題となっています。

## 深谷市の現状と課題

- 地域福祉の担い手となる民生委員や自治会などの地域組織や、地域福祉活動団体などと連携し高齢者などの安否確認など、地域の特性に応じた見守り活動に取り組むほか、身近な場所で気軽に集まれる場として、「地域のお茶の間」を設置しており、今後も、地域での支え合いの仕組みづくりが必要です。
- 従来のように子ども・障害のある人・高齢者など対象者ごとの支援体制では、複合的な課題やさまざまなニーズへの対応が困難になっており、包括的な相談体制の整備が求められています。
- 生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮する方たちから相談を受け、専門の相談員が一人ひとりの状況に合わせた支援を行っています。今後も、生活困窮者の就労を支援し、自立を促すことが必要です。



## 取組方針

### 1 地域の中で支え合う仕組みづくりを支援します

地域の意向や実情に即した方法により、地域福祉の担い手となる民生委員や自治会などの地域組織や、地域福祉活動団体と連携し、地域の中で支え合う仕組みづくりを継続して推進します。また、社会福祉協議会と連携し、担い手の育成を支援します。

**【主な事業】**

地域福祉推進事業、民生委員児童委員事務、社会福祉協議会運営補助事業

### 2 包括的な相談支援体制を整備します

関係機関と連携し、地域の力だけでは解決できない生活上の課題や複合的な課題を受け止めることができるように、福祉を中心とした組織横断的で包括的な相談支援体制を整備します。

**【主な事業】**

地域福祉推進事業、社会福祉協議会運営補助事業

### 3 生活困窮者の自立を支援します

生活困窮者自立相談支援制度などの周知機会を増やし、生活に困窮する方が気軽に相談に訪れて、自立した生活を送ることができるよう就労支援などの支援策を充実します。

**【主な事業】**

生活困窮者自立支援事業、生活保護事業

## 関連する個別計画

- 第3次深谷市地域福祉計画・深谷市地域福祉活動計画(令和2(2020)年度～令和7(2025)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	1 貧困をなくす 	2 飢餓をゼロに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	10 人や国の不平等をなくす 
ターゲット	1, 2, 3, 4, 5	1	4	1

# 高齢者福祉の推進

## 5年後の 目指す姿

高齢者が住み慣れた地域で必要な支援を受けながら、安心していつまでもいきいきと自分らしい暮らしを続けることができています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
75歳以上の要介護・要支援認定率	28.2%	28.2%
75歳以上の市民のうち、要介護・要支援の認定を受けた市民の割合であり、高齢者の介護予防が行われているかを測る指標です。		
シニアの交流機会の年間延べ参加者数	6,836人	15,483人
高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、閉じこもりの防止、介護予防などを目的とした地域における高齢者の社会参加が促進されているかを測る指標です。		

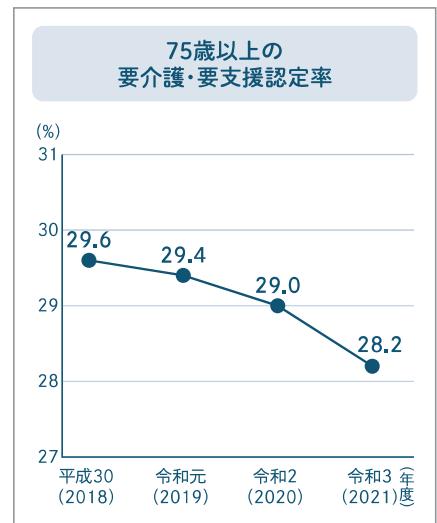
## 施策を取り巻く社会状況

高齢化が進行し、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加傾向にあります。

また、生活様式や価値観の多様化などにより、高齢者の困りごとも多様化、複雑化しており、高齢者に対するさらなる支援が求められています。平均寿命は延伸傾向である一方、認知症患者数も増加傾向が続いているほか、高齢者の孤立、虐待、フレイル\*(虚弱)などが問題となっています。

## 深谷市の現状と課題

- 高齢者が自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「医療」「介護」「住まい」「生活支援」「介護予防」を柱として高齢者の生活を支援していく「地域包括ケアシステム\*」のさらなる充実に向けて、大里広域市町村圏組合などの関係機関と連携し事業を実施しています。高齢化が進行する中、引き続き、高齢者が安心して暮らせる生活環境の整備が求められています。
- 高齢者が自分らしい生き方を続けていくために、心身の健康を維持していくだけでなく、地域とのつながりを保ち続けることが大切です。このため、高齢者の介護予防と社会参加の促進が求められています。



## 取組方針

### 1 高齢者が安心して暮らせる生活環境を整備します

高齢者が地域で安心して暮らし続けるため、医療や介護サービスだけでなく、相談、見守り、権利擁護などの支援、住宅の改修費用の助成など、在宅生活を継続するための施策やサービスの充実を図ります。また、地域住民、NPO\*、ボランティア、福祉団体、民間事業者などの多様な事業主体による重層的な支援体制を構築し、高齢者の生活を支える仕組みの充実を図ります。

#### 【主な事業】

高齢者福祉政策推進事業、高齢者介護支援事業、高齢者在宅福祉サービス事業、高齢者権利擁護推進事業

### 2 高齢者の介護予防と社会参加を促進します

高齢者が自分らしい生き方を続けていくために、健康づくりと介護予防事業の連携の強化を図るとともに、生きがい活動の場の提供により、社会参加の促進を図るなど、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる環境を創出します。

#### 【主な事業】

高齢者慶祝事業、高齢者健康・文化促進事業、地域保健福祉活動推進事業、介護保険運営事業

## 関連する個別計画

- 深谷市高齢者福祉計画(令和3(2021)年度～令和5(2023)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>3</b> すべての人に 健康と福祉を	<b>5</b> ジェンダー平等を 実現しよう
ターゲット	8	4



深谷ふっかつの実践

# 障害者福祉の推進

## 5年後の 目指す姿

障害のある人とその家族を支援する体制が充実し、  
障害のある人が住み慣れた地域で個人として尊重されるとともに、  
生きがいを持ちながら自分らしく幸せに暮らしています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
共同生活援助(グループホーム)の利用者数	284人	401人
障害福祉サービスの利用者のうち、共同生活援助(グループホーム)を利用している方の人数であり、障害のある人が住み慣れた地域で豊かで安心して暮らすことができる体制が整っているかを測る指標です。		
障害者就労支援センター登録者の就労割合	50.1%	53.7%
深谷市障害者就労支援センターの登録者のうち、就労した方の割合であり、障害のある人の社会参加が促進されているかを測る指標です。		

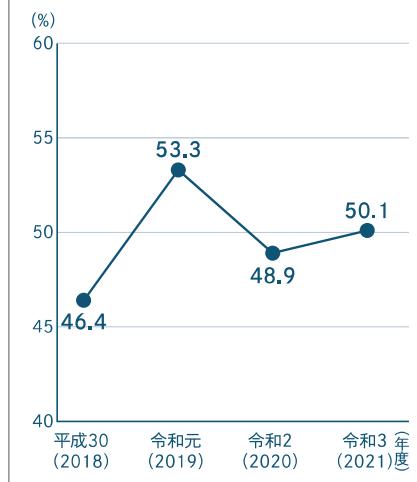
## 施策を取り巻く社会状況

国による法整備に伴い、障害福祉サービスなどの支援が充実し、サービス利用者の増加や地域生活への移行が促進されている一方、障害のある人の高齢化・重度化や親の高齢化が進んでいます。こうした中、誰もが地域で安心して暮らし続けるための支援体制の強化と障害に対する正しい理解が求められています。また、障害のある人の就労の促進と定着に向けた支援の充実や、社会のあらゆる分野の活動に参加する機会の確保が求められています。

## 深谷市の現状と課題

- 障害のある人が地域で安心して暮らしていくために、障害に対する理解の促進と権利擁護が求められています。
- 障害者基幹相談支援センター\*などにおいて相談支援を実施していますが、障害のある人が自ら望む地域生活を営むことができるように、個々のニーズに応じたきめ細やかな対応が求められています。今後も、障害のある人が必要な福祉サービスを利用し、自分らしく生きる社会づくりを推進することが必要です。
- 障害のある人の就労の相談や機会の充実を図るとともに、「深谷市手話言語条例」や「深谷市障害の特性に応じたコミュニケーション手段の確保の促進に関する条例」(令和3(2021)年4月制定)に基づき、行政、市民、事業者が協力して障害のある人が多様なコミュニケーションを選択できるまちづくりを進め、社会参加の促進を図ることが必要となっています。

障害者就労支援センター登録者の就労割合



## 取組方針

### 1 障害に対する理解を促進し、障害のある人の権利を擁護します

障害に対する理解促進や差別解消に向け、講演会や研修会を開催するほか、広報ふかやへの啓発記事の掲載などを行います。また、障害のある人の権利と財産を守るため、障害者虐待防止の周知や啓発を行い、判断能力が不十分な障害のある人へ成年後見制度\*の利用支援を図ります。

#### 【主な事業】

地域生活支援事業

### 2 障害のある人へのサービスを充実します

福祉サービスの利用に関する相談支援の充実を図り、地域生活支援拠点等の整備を推進するとともに、住宅の改修費用を助成するなど、障害のある人の地域での生活を支えるサービスの充実を図ります。また、発達の遅れや障害のある子どもたちを早期に支援につなげる仕組みづくりを推進し、子どもとその保護者がともに安心して生活していくための支援体制の充実を図ります。

#### 【主な事業】

障害者支援事業、地域生活支援事業

### 3 障害のある人の就労・社会参加を促進します

障害のある人の社会参加を促進するため、身近な地域において障害のある人本人の能力や適性に応じた就労支援を行います。また、ホームページや広報ふかやを通じて、手話や障害の特性に応じたコミュニケーション手段の理解促進と普及啓発を図ります。

#### 【主な事業】

地域生活支援事業、障害者就労支援事業

## 関連する個別計画

- 深谷市障害者プラン（第5次深谷市障害者計画（令和3（2021）年度～令和8（2026）年度）、第6期深谷市障害福祉計画（令和3（2021）年度～令和5（2023）年度）、第2期深谷市障害児福祉計画（令和3（2021）年度～令和5（2023）年度））

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう	<b>8</b> 働きがいも経済成長	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう
ターゲット	4	4	5	2



郷土かるた深谷大会  
みんな頑張りました！



生徒たちの合唱

### まちのイメージ ②

## 次代を担う人と文化を育むまち (教育・文化)

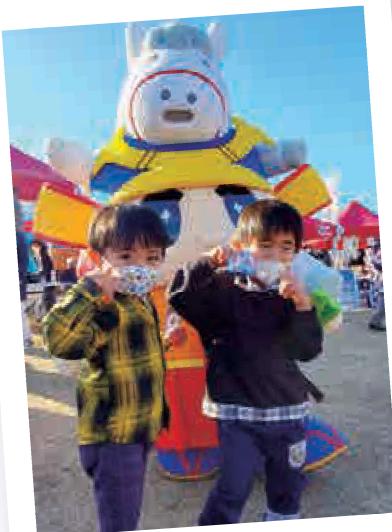


ふかやの有名人大集合！



重忠公に憧れて





ちびっこ武士の鑑



みんなで稲めりり！たくさんとれた！



島山重忠公 鶯の瀬石碑

一所懸命！  
田んぼアートで重忠公ふっかちゃん！

2-1

# 共に学び、成長が実感できるまちづくり

## 「2-1 共に学び、成長が実感できるまちづくり」が目指すビジョン

次世代を育成するために教育に力を入れ、「立志」と「忠恕」の思想を生涯貫いた栄一の考えを大切にしながら、以下の取組を実践します。

次代を担う子どもたちの確かな学力や豊かな心と健やかな体を育むとともに、家庭・地域・学校が連携して、地域総がかりで子どもたちの育成に取り組みます。

これにより、すべての子どもたちがたくましく、健やかに成長できるまちを実現します。



学び、語り合う道徳の授業

八基小学校と北海道清水町立清水小学校の  
オンライン交流

地域の方による見守り活動

2-1

### 共に学び、成長が実感できるまちづくり

2-1-1

「生きる力」を育む学校教育の推進 ..... 88

2-1-2

家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上 ..... 90



## 深谷市が目指すSDGsのゴール(教育分野)

<b>3</b> すべての人に 健康と福祉を 実現しよう	<b>③すべての人に健康と福祉を(社会)</b> あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	<b>4</b> 質の高い教育を みんなに	<b>④質の高い教育をみんなに(社会)</b> すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習*の機会を促進する
<b>5</b> ジェンダー平等を 実現しよう	<b>⑤ジェンダー平等*を実現しよう(社会)</b> ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女兒のエンパワーメントを図る	<b>8</b> 働きがいも 経済成長も	<b>⑧働きがいも経済成長も(経済、社会)</b> すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用を推進する

**市民や事業者のみなさんを取り組めること**

- 学校応援団などの子どもたちの教育に関するボランティアに参加し、自分が持つ知識や技術を子どもたちのために役立てる。
- 朝夕の登下校の子どもたちに対してあいさつを行うなど、地域の日常の中で子どもたちとの関わりを意識する。



**渋沢栄一\*が遺した功績や精神・考え方など(教育分野)**

- 栄一は教育分野でも尽力し、特に実業教育に力を入れました。とりわけ、商人の地位を向上させ、幅広い知識を得ることで、良き経営者になれるような人材の育成を行いました。設立や支援に関わった学校には、商法講習所(現在の一橋大学)や大倉商業学校(現在の東京経済大学)、深谷商業学校(現在の埼玉県立深谷商業高等学校)をはじめ多くの商業学校があります。
- また、栄一は、「新しき時代には新しき人物を養成して新しき事物を処理せねばならない」と言っており、次世代を育成するために、さまざまな学校の設立や教育への資金援助に熱心に取り組みました。
- さらに、学校の設立以外にも学生に対する支援をしています。埼玉県出身の学生の寄宿舎をつくるため、埼玉学友会が結成され、明治35(1902)年に埼玉学生誘掖会が創設された際、栄一は初代会頭に就任しました。会頭に就任後、栄一は積極的に行事にも出席し、学生たちとの交流を図りました。
- 「立志」(夢を持ち志高く生きること)と「忠恕」(ちゅうじよ)(まごころ・思いやり)は栄一が生涯貫いた思想と言われており、現在の深谷市の教育に引き継がれています。



# 「生きる力」を育む学校教育の推進

## 5年後の 目指す姿

郷土の偉人・渋沢栄一の立志と忠恕の精神を大切にしながら、次代を担う子どもたちに、確かな学力や豊かな心と健やかな体が育まれ、子どもたちが安全に安心して学校生活を送っています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
全国学力・学習状況調査の正答率が県平均を上回る小学校・中学校の割合	小34.2% 中30.0%	小58.0% 中55.0%
全国学力・学習状況調査において、国語、算数（中学校は数学）の問題それぞれで、県平均を上回った市内小中学校の割合であり、子どもたちの確かな学力が育まれているかを測る指標です。		
不登校児童生徒のうち、支援を受けることが出来ている割合(小・中学生)	80.9%	85.0%
適応指導教室など学校外の機関などで相談・指導を受けた、もしくは学校内において養護教諭やスクールカウンセラーなどによる専門的な相談・指導を受けた児童生徒の割合で、不登校児童生徒の多様で適切な教育機会を確保できているか測る指標です。		
新体力テストの総合評価で上位3ランク(A+B+C)の児童生徒の割合(小学校・中学校)	小80.4% 中81.8%	小85.0% 中85.0%
国が実施する「新体力テスト」の5段階総合評価のうち、上位3ランクの児童生徒の割合であり、子どもたちの健やかな体が育まれているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

子どもたちの学ぶ意欲や自己肯定感の低下が指摘されています。また、高度情報通信社会のもと、インターネットの普及によりいじめやトラブルが増加しており、より一層の不登校やいじめへの対処、道徳教育の充実が求められています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、休校、感染症対策の徹底、学校行事や部活動の制限などにより、児童生徒の学習面や心理面などに影響が表れたことから、あらゆる手段で、子どもたち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する取組が必要となっています。

## 深谷市の現状と課題

- 子どもたちの確かな学力を育むことが求められており、今後もさらに教員の授業力向上のために、研修の充実が必要となっています。また、GIGAスクール\*構想により、児童生徒に1人1台の学習者用端末と学校の高速大容量のネットワーク環境の整備が令和2(2020)年度に完了し、今後、これまでの教育実践とICT\*とを適切に組み合わせ、個別最適な学びと協働的な学びの実現が求められています。
- 不登校やいじめ問題に関しては、未然防止や早期対応を図ることはもとより、子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援が求められています。また、子どもたちの体力向上に向けた体育授業や運動部活動の充実に取り組み、子どもたちの心身の成長を図ることが必要となっています。
- 学校施設の建物の耐震化については、小中学校、幼稚園がすでに完了していますが、学校施設の老朽化対策を早期に進めることが重要となっています。

全国学力・学習状況調査の正答率が県平均を上回る小学校・中学校の割合



## 取組方針

### 1 子どもたちの確かな学力を育みます

教員の授業力向上に加え、学力向上にかかる人的支援を充実するとともに、キャリア教育\*やICT教育\*などの充実により、子どもたちが時代の進展に対応できるようになるための資質の育成を図ります。また、市立幼稚園を再編し、幼児教育の充実を図るとともに、多様化する保育ニーズに対応するため、保育サービスの充実を図ります。

#### 【主な事業】

少人数指導事業、学力向上推進事業、中学生補習学習運営事業、小・中学校教育活動推進事業、国際化教育推進事業、渋沢spirit in ふかやGIGAスクール推進事業、幼稚園教育活動推進事業

### 2 子どもたちの豊かな心と健やかな体を育みます

「渋沢栄一\*翁 こころざし読本」を活用した道徳教育や、子どもたちに対するきめ細やかな教育相談、子どもたち、保護者及び教員への適切な指導助言を行うことで、子どもたちの豊かな心を育みます。また、教員の指導力の向上や地域人材の活用による部活動の充実を図るとともに、学校における食育や性に関する指導を充実することにより、子どもたちの健やかな体を育みます。

#### 【主な事業】

教育研究所管理運営事業、特別支援教育事業、いじめ・不登校対策事業、ふるさと教育推進事業、体力向上推進事業、学校人権教育推進事業、小中学校給食事業

### 3 安全な学校施設と充実した学習環境を整備します

学校施設の点検により機能維持を図るとともに、深谷市学校施設長寿命化計画に基づき老朽化した施設に対する大規模改修工事などを計画的に実施し、子どもたちの安全確保を図り、ニーズの変化や気候変動に対応した良好な学習環境を整備します。また、学校図書館の読書センター機能に加えて、学習センターや情報センターとしての機能を充実することにより、子どもたちの主体的な学習活動を支援します。

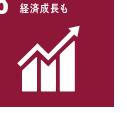
#### 【主な事業】

学校施設大規模改修等事業、学校施設維持事業、学校施設整備事業、情報教育推進事業

## 関連する個別計画

- 第3期深谷市教育振興基本計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)
- 深谷市学校施設長寿命化計画(令和2(2020)年度～令和41(2059)年度)
- 深谷市学校施設長寿命化実施計画(令和2(2020)年度～令和11(2029)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>3</b> すべての人に 健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育を みんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を 実現しよう 	<b>8</b> 働きがいも 経済成長も 
ターゲット	5	1, 2, 5, 6, 7, a	6	6

# 家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上

## 5年後の 目指す姿

家庭・地域・学校の連携体制を強化することにより、地域総がかりで子どもたちの育成に取り組む中で、子どもたちが健やかに成長しています。

## まちづくり指標

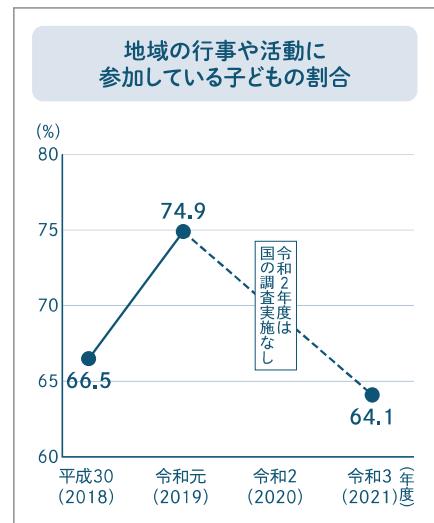
指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
地域の行事や活動に参加している子どもの割合	64.1%	73.0%
全国学力・学習状況調査において、市内全小6児童及び中3生徒のうち、地域の行事や活動に参加している児童生徒の割合であり、家庭・地域・学校の連携による教育力が向上しているかを測る指標です。		
学校応援団の年間延べ活動回数(1校当たり)	178回	300回
保護者・地域住民が、学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う「学校応援団」の取組が、市内29の中小学校において1校当たり平均何回行われているかを示す値であり、家庭・地域・学校が協力する教育体制が整っているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

核家族化、少子化などの要因から家庭の教育力の低下が懸念されています。また、地域のつながりの希薄化により、子育てを学び助け合う機会が減少しており、地域の教育力の低下も懸念されています。こうしたことから、家庭や学校、地域が一体となって、子どもたちの成長を支えることが求められています。

## 深谷市の現状と課題

- 1 公民館などでは、小・中学生の保護者を対象とした講座などを開催しており、引き続き情報提供を通じて、子育てや家庭教育を支えていく必要があります。
- 2 令和3(2021)年度には市内全小・中学校に、地域のコーディネーター役として地域学校協働活動推進員を配置し、学校運営協議会や学校応援団と連携しながら、地域総がかりで子どもたちの育成に取り組んでいます。今後は、家庭・地域・学校の協力体制の強化に向け、関係団体における人材確保が必要となっています。



## 取組方針

### 1 家庭の教育力の向上に向け支援します

小・中学生の保護者を対象とした「親の学習講座」や「家庭教育学級\*」を開催することにより、家庭における教育力の向上を図ります。また、教育情報紙などの発行により、家庭における意識の啓発に努めるとともに、知識の習得を支援します。

**【主な事業】**

家庭教育事業

### 2 家庭・地域・学校が協働する教育体制を整備します

子ども学習支援事業「がんばル～ム」・平日放課後子ども教室を実施するとともに、子どもたちの世代間交流や、学校と地域が連携した教育支援の体制づくりなど、地域学校協働活動推進員を中心とする学校と市民の協働により、子どもたちの成長を支援します。また、学校応援団など地域の方の関わりやその活動を充実することにより、地域総がかりで次代を担う子どもたちの成長を支援します。

**【主な事業】**

社会教育事業、子ども学習支援事業、家庭・地域・学校連携推進事業

## 関連する個別計画

- 第3期深谷市教育振興基本計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	4 貢献の高い教育をみんなに
ターゲット	1



放課後子ども教室「がんばルーム」



## 2-2

## 誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり

## 「2-2 誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり」が目指すビジョン

生涯を通じて学び続ける姿勢や、諸外国の文明に触れるなど、積極的に自らの見聞を広め、郷土芸能の保存を通じた地域振興に生かした栄一の姿勢を模範としながら、以下の取組を実践します。

誰もが生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しむことができる環境をつくるとともに、郷土への愛着と誇りを育んでいきます。

これにより、誰もが生きがいを持ち、生涯を通じて学び、活動できるまちを実現します。



岡部生涯学習センター・岡部公民館



村岡桃佳選手 凱旋パレード



渋沢栄一アンドロイドによる講義

## 2-2

## 誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり

## 2-2-1

生涯学習\*の推進 ..... 94

## 2-2-2

スポーツ・レクリエーションの推進 ..... 96

## 2-2-3

郷土の歴史・文化の継承と活用 ..... 98

## 2-2-4

渋沢栄一\*の顕彰と精神の継承 ..... 100



## 深谷市が目指すSDGsのゴール(文化分野)

<b>3</b> すべての人に 健康と福祉を 実現しよう	<b>③すべての人に健康と福祉を(社会)</b> あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	<b>4</b> 質の高い教育を みんなに	<b>④質の高い教育をみんなに(社会)</b> すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
<b>5</b> ジェンダー平等*を 実現しよう	<b>⑤ジェンダー平等*を実現しよう(社会)</b> ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女兒のエンパワーメントを図る	<b>8</b> 働きがいも 経済成長も	<b>⑧働きがいも経済成長も(経済、社会)</b> すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用を推進する
<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう	<b>⑨産業と技術革新の基盤をつくろう(経済)</b> 強靭なインフラ*を整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	<b>11</b> 住み続けられる まちづくりを	<b>⑪住み続けられるまちづくりを(経済、社会)</b> 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする
<b>17</b> パートナーシップで 目標を達成しよう	<b>⑯パートナーシップ*で目標を達成しよう(環境、経済、社会)</b> 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		

**市民や事業者のみなさんを取り組めること**

●深谷の文化や歴史を大切にしながら、身近な文化芸術に触れる。  
 ●日常的に行うウォーキングや体操などを含め、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ。



### 渋沢栄一が遺した功績や精神・考え方など(文化分野)

- 栄一は無類の読書好きで、生涯を通じて学び続ける姿勢を貫きました。幼少期は父の市郎右衛門から漢文の素読を学び、従兄の尾高惇忠の私塾へ通い、論語をはじめ四書五経を学びました。また、パリ万国博覧会に随行する道中では、フランス語とともに食事マナーなど外国の風習も学んでいます。
- 幼少期に血洗島の獅子舞などに親しんだことから、芸能など文化財保存による地域振興に力を注ぎました。また、明治20(1887)年に設立された日本美術協会で評議員を務めるほか、明治44(1911)年には、栄一らが発起人となり、日本初の西洋式劇場として帝国劇場を東京・日比谷に建設しました。
- 栄一の講演録を編集し、一冊に取りまとめられた「論語と算盤」は、経営者のみならずスポーツでのチーム経営にも積極的に取り入れられ、大リーグプレーヤーの大谷翔平選手は、日本ハムファイターズ時代に栗山監督の勧めにより、この本を読みました。



# 生涯学習の推進

## 5年後の 目指す姿

市民の多様なニーズに対応した生涯学習の場や機会の提供により、市民が気軽に集い、学び合うことでいきいきとした生活を送っています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
生涯学習*を実践している市民の割合	31.3%	38.0%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「自発的な学習や自己啓発活動など生涯学習を実践している」と答えた市民の割合であり、生涯学習が推進されているかを測る指標です。		
公民館の稼働率	30.1%	35.0%
市内12公民館全室の1時間ごとの平均稼働率であり、生涯学習施設の利用状況を測る指標です。		
市民1人当たりの図書館資料の貸出点数	3.45点	4.00点
図書館本館、4分館での貸出点数の合計を人口で割った平均値であり、図書館サービスが充実しているかを測る指標です。		

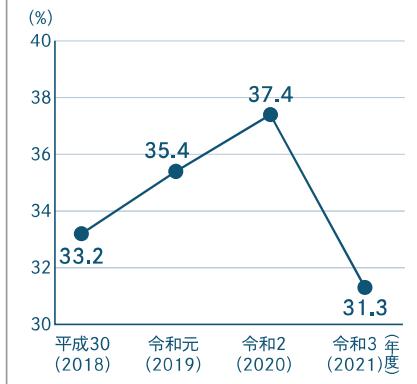
## 施策を取り巻く社会状況

人生100年時代\*の到来、働き方改革の推進、自由時間の増大を背景に、リカレント教育\*や生涯にわたる生きがいのための学び、知識や技術習得のための学びなど、多様な学習活動へのニーズが高まっています。また、インターネットなどの情報通信技術の発達や携帯情報端末の普及により読書環境が変化し、図書館のニーズが高度化、多様化しています。

## 深谷市の現状と課題

- 市内12の公民館では、利用団体による自主的な活動、公民館が開催する学級講座や、体育レクリエーションなど、さまざまな活動が活発に行われています。また、ふかや市民大学を実施し、市民の学ぶ機会を提供しており、こうした取組により、生涯学習を実践している市民の割合は、概ね増加傾向にあります。特に令和4(2022)年度から公民館利用の範囲を拡大したことで、市民の多様な学習活動機会の充実が期待されており、今後も、充実した学習講座の実施と継続的な学習活動の支援が求められています。
- 新たな公民館の整備を進める一方、多くの公民館や図書館で維持管理費の増大、施設設備の老朽化などへの対応が課題となっています。
- 市内に5カ所ある図書館では、生涯学習を支援するための資料を所蔵するとともに、おはなし会や各種講座などを開催し、学習の機会と場所を提供しています。近年の読書環境の変化により、図書館の利用者は減少傾向にあり、今後はメディアの多様化に対応し、市民のさまざまな要望に応える図書館づくりを進めることができます。

生涯学習を実践している市民の割合



## 取組方針

### 1 市民のニーズに応える生涯学習を支援します

各地区における公民館事業のさらなる充実を図るとともに、企業などの専門的知識・技術を活用した講座などの開催により、市民の学習機会の拡充を図ります。また、ふかや市民大学の運営及びその卒業生からなる校友会などと連携した事業の実施などを通して、継続的な生涯学習活動及び市民の学びの成果を地域に還元し、市内に学びの循環が生まれる仕組みづくりに取り組みます。

**【主な事業】**

公民館事業、生涯学習推進事業

### 2 生涯学習施設を整備・充実します

公民館や図書館の利用環境を整備し、機能の充実を図るとともに、施設の老朽化や快適な学習環境づくりに対して、必要な修繕・改修を実施するなど生涯学習施設の整備・充実を図ります。また、公民館・図書館の適切かつ効率的・効果的な施設管理・運営を図ります。

**【主な事業】**

社会教育施設整備事業、社会教育施設維持管理事業、図書館管理運営事業

### 3 図書館サービスを充実します

各館の特色を活かし地域の情報拠点として、資料を収集・整理し、保存するとともに、インターネットを活用するなど、多様な市民のニーズに応じ、さまざまな形式での情報提供に努めます。また、おはなし会や講座などのイベントを引き続き実施し、図書館サービスのさらなる充実を図ります。

**【主な事業】**

資料管理事業、読書推進事業

## 関連する個別計画

- 第3期深谷市教育振興基本計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)
- 第3次深谷市子供読書活動推進計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	4 貧の高い教育をみんなに 
ターゲット	7, a



# スポーツ・レクリエーションの推進

## 5年後の 目指す姿

誰もがスポーツに参加できる環境が整備され、一人ひとりが身近でスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、健康で生き生きとした生活を送っています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
スポーツやレクリエーションを行っている市民の割合	54.3%	59.0%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、スポーツやレクリエーションを「日常的に行っている」「ときどき行っている」と答えた市民の割合であり、スポーツ・レクリエーションが推進されているかを測る指標です。		
スポーツ施設の利用者数	31万5,394人	57万3,000人
総合体育館(ビッグタートル)などのスポーツ施設の年間利用者数であり、気軽にスポーツに親しめる環境が整っているかを測る指標です。		

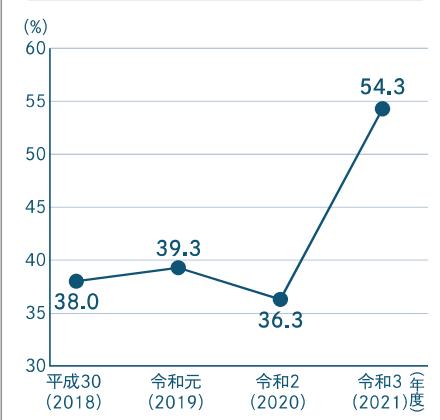
## 施策を取り巻く社会状況

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの2大国際大会では、多くの人がスポーツ観戦を楽しみ、スポーツへの関心が高まりました。生活様式や働き方の変化で、健康への意識が高まりスポーツに取り組む人は増加している一方で、少子・高齢化が進んでいる中で、地域においてスポーツ参画する人や支える担い手が不足し、スポーツ・レクリエーション環境の維持が困難となってきていくことが問題です。

## 深谷市の現状と課題

- ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックを契機に開催したスポーツイベントへの参加者、体育館や公民館の体育室などのスポーツ施設の利用者数は増加しています。スポーツをはじめるきっかけづくりのために、まずスポーツを見る機会を提供する必要があります。また、指導者の育成やスポーツイベントの開催などにより、スポーツを楽しめる環境づくりも必要です。
- 日常的にスポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合は、増加傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響によって一時的に減少しています。今後、健康寿命\*の延伸の観点から、誰もが「楽しむこと」「健康維持と体力向上」「習慣化」ができるスポーツの普及を推進していく必要があります。
- スポーツ施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改築や改修を実施することで、利用者の利便性を高めていくことが求められています。

スポーツやレクリエーションを行っている市民の割合



## 取組方針

### 1 市民が気軽にスポーツに親しめる環境をつくります

トップレベルのスポーツ観戦の機会を提供するとともに、スポーツを身近に感じ主体的にスポーツに取り組むきっかけづくりを促進します。また、スポーツ関係団体と連携し指導者の育成を支援するとともに、スポーツイベントを開催して、スポーツを楽しめる環境づくりに努めます。

**【主な事業】**

生涯スポーツ推進事業、スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業

### 2 誰もが生涯を通じてできるスポーツの普及を推進します

誰もが日常的に実践できる「みんなのふっかちゃん体操」、ウォーキングやマラソンなどの生涯スポーツを仲間とともに楽しみながら健康維持と体力向上ができるよう、健康づくりへの取組を推進します。また、東京パラリンピックのレガシー\*としての健常者も障害のある人もともに楽しめるインクルーシブスポーツ\*を推進します。

**【主な事業】**

生涯スポーツ推進事業、スポーツ推進委員活動支援事業

### 3 スポーツ施設の利用環境の充実を図ります

身近な場所で気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができる機会を提供するとともに、総合体育館をはじめとしたスポーツ施設の利用を促進します。また、老朽化した施設の設備を計画的に改修し、利用者の利便性の向上に努めます。

**【主な事業】**

総合体育館整備管理事業

## 関連する個別計画

- 第3期深谷市教育振興基本計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	3 すべての人に 健康と福祉を	4 貧の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう
ターゲット	4	7	1



# 郷土の歴史・文化の継承と活用

## 5年後の 目指す姿

郷土の誇る歴史や文化が保護・継承され、それに触れる機会が充実し、市民が郷土意識を深めています。また、郷土の偉人の業績に触れるイベントなどを通じて、市民団体や市民と訪問者との交流が盛んになっています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
芸術鑑賞や文化活動を行う市民の割合	18.7%	32.0%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「この1年間に芸術文化や多様な文化活動に親しむ機会があった」と答えた市民の割合であり、市民が行う文化芸術活動が支援されているかを測る指標です。		
無形民俗文化財の後継者育成を行う団体の割合	92.0%	92.0%
市内の無形民俗文化財の指定団体のうち、後継者育成を行う団体の割合であり、深谷が誇る歴史や文化が保存・継承・活用されているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

地域固有の伝統や文化財については、急激な時代の流れの中で、その維持・継承が困難となっています。一方、文化財を観光資源として活用するなど、幅広い活用も進んでいます。また、文化芸術は市民が心豊かな生活を実現するために必要不可欠なものであることから、文化芸術に触れる機会や文化芸術活動への支援が求められています。

## 深谷市の現状と課題

- 身近な場所で文化芸術に触れる機会として、企画展示やコンサート、映画鑑賞会などを提供するとともに、文化団体への補助金を交付するなど行っており、引き続き若年層を含む幅広い世代の方にも郷土の歴史・文化に触れてもらうための機会を提供していくことが必要です。また、市民の文化芸術活動が一層振興されるように、文化会館のあり方などについて検討が必要となっています。
- ホフマン輪窯<sup>わがまなわらかんが</sup>、幡羅官衙遺跡<sup>はらかんが</sup>などの重要文化財や史跡をはじめとする歴史的資料を守り伝えつつ、幅広く活用していくことは、歴史・文化の継承と発展のためにますます重要となっています。
- 郷土の偉人の業績や郷土の魅力を伝えるための企画展、講演会などを行っており、今後は、来場者の多様なニーズに応じた展示内容や各種講座など、学習機会のさらなる充実を図ることが必要となっています。

芸術鑑賞や文化活動を行う市民の割合



## 取組方針

### 1 市民が行う文化芸術活動を支援します

企画展覧会やコンサート、ホームページのデジタルミュージアムなどを活用して地域ゆかりの芸術作品や偉人の功績に関する情報など、市民が文化芸術に直接触れる機会を提供します。また、市内で文化活動を行う団体や個人に対して、発表機会の提供や広報紙及びSNS\*を通じ周知するなど、文化芸術活動が振興されるよう支援を行います。

**【主な事業】**

文化振興事業、学術文化活動奨励事業

### 2 深谷が誇る歴史や文化を保存・継承・活用します

市内の重要な文化財に対する「市指定文化財」の指定や重要文化財などの整備や、適切な維持管理により、市内に所在する文化財を保存・継承し、その文化財によって市内外の人が深谷市に魅力を感じることができるように活用を図ります。また、深谷市の歴史や文化について、郷土に対する理解や関心を深めるとともに、市に関する歴史的資料の散逸を防ぎ、歴史を後世に伝えていくための取組を行います。

**【主な事業】**

文化財活用事業、埋蔵文化財調査事業、文化財施設管理活用事業、文化財保護事業

### 3 郷土にゆかりのある偉人や歴史を紹介する取組を行います

郷土の偉人や地域にゆかりがありながら、普段取り上げられる機会が少ない偉人の功績を調査研究し、市民への理解・浸透を図るとともに、深谷市の歴史を紹介する講座や企画展示を行い、市内外に情報を発信します。また、市内小中学校の児童生徒向けに歴史を身近に感じられる各種教室を開催するなど、学習機会の充実を図ります。

**【主な事業】**

文化振興事業、文化財活用事業、郷土の偉人顕彰事業

## 関連する個別計画

- 第3期深谷市教育振興基本計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)
- 重要文化財日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設保存活用計画(平成27(2015)年3月～)
- 国指定史跡幡羅官衙遺跡群保存活用計画(令和3(2021)年3月～)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	4 貧の高い教育をみんなに	11 住み続けられるまちづくりを
ターゲット	7	4



# 渋沢栄一の顕彰と精神の継承

## 5年後の 目指す姿

全国的に渋沢栄一\*のことが広く認知され深谷市の認知度が向上するとともに、  
深谷市の交流人口が増加しています。また、「論語と算盤」をはじめとした渋沢栄一の  
考え方を継承し、その知恵を学んで進取の精神\*で未来を切り拓く人たちが増加しています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
渋沢栄一ゆかりの施設の来場者数	48万6,698人	27万4,000人
渋沢栄一にゆかりのある「旧渋沢邸『中の家』」「尾高惇忠生家」「誠之堂・清風亭」「旧煉瓦製造施設」「渋沢栄一記念館」の1年間の来場者数であり、渋沢栄一をはじめとした郷土の偉人を生かした取組が行われているかを測る指標です。令和3(2021)年度は、大河ドラマ放送の影響により、来場者数が急増しています。		
渋沢栄一ひとづくりカレッジの参加者数	351人	30万人
渋沢栄一の精神の継承のため実施する「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」及びその関連事業への1年間の参加者数であり、現場への来場者数とオンラインでの視聴者数を合算したものです。		

## 施策を取り巻く社会状況

渋沢栄一が主人公である大河ドラマ「青天を衝け」が令和3(2021)年2月から12月まで放送され、また、令和6(2024)年に発行される新一万円札の肖像に採用されるなど、渋沢栄一への注目が飛躍的に高まっています。

## 深谷市の現状と課題

- 新一万円札肖像画決定や大河ドラマ放送により、渋沢栄一ゆかりの施設である「旧渋沢邸『中の家』」「尾高惇忠生家」「誠之堂・清風亭」「旧煉瓦製造施設」「渋沢栄一記念館」への来場者が増加しています。また、令和3(2021)年には大河ドラマ館を市内に開設し地域活性化に寄与しました。大河ドラマ放送での盛り上がりを契機としてこれからも渋沢栄一の功績や精神を全国に広めるとともに、渋沢栄一を核とした地域活性化を継続することが必要となっています。
- 渋沢栄一記念館を中心に常設展示や企画展、講演会など、来場者の多様なニーズに応じた展示や各種講座などを行っています。今後はボランティアなどとの市民協働\*を含めた事業を推進し、生涯学習\*の機会のさらなる充実を図ることが必要となっています。
- 不確実性の高い時代にあって、高い志を持ち、日本や世界の未来を切り拓く人材を育てるため、企業経営者などが渋沢栄一の精神を学ぶ場など、栄一の考え方を継承する機会が必要となっています。



## 取組方針

### 1 渋沢栄一関連施設の来訪者を増やして地域の活性化を図ります

渋沢栄一関連のイベントなどを実施することにより、広く渋沢栄一の魅力を発信することで、渋沢栄一に興味を持ち、渋沢栄一関連施設を訪れたいと思う人を増やします。また、訪れた方が市内の魅力ある観光地を巡ることができるよう、回遊策を構築し、地域の活性化につなげます。

#### 【主な事業】

渋沢栄一政策推進事業、渋沢栄一地域活性化事業

### 2 渋沢栄一を生かした生涯学習の機会の充実を図ります

渋沢栄一に関する資料の調査研究を進め、その成果を生かした常設展、企画展を開催することにより、渋沢栄一の功績を広く顕彰します。また、東京都北区にある渋沢史料館をはじめ、渋沢栄一ゆかりの地域などと連携しながら、展示活動のさらなる充実を図ります。さらに、講演会や連続講座「栄一塾」の開催などを通じて、市民の生涯学習\*の機会のさらなる充実を図ります。

#### 【主な事業】

渋沢栄一顕彰事業、「論語の里」施設管理活用事業

### 3 渋沢栄一の精神を学ぶ「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」を推進します

渋沢栄一は約500の企業の設立や経営に関わり、その中心には道徳と経済を両立させるという精神があります。この渋沢栄一の精神を「ひとづくり」と捉え、ビジネス教育と人材育成を目的とした実践的な取組について、経営者などが学べる場をつくり、未来のために知恵を出し合い、実践できる仕組みを構築します。

#### 【主な事業】

渋沢栄一政策推進事業

## 関連する個別計画

- 第3期深谷市教育振興基本計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)
- 「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>4 質の高い教育をみんなに</b> 	<b>8 働きがいも経済成長も</b> 	<b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 	<b>11 住み継がれるまちづくりを</b> 	<b>17 パートナーシップで目標を達成しよう</b> 
ターゲット	4, 7, a	1, 3, 9	2	4	17





待ちに待った収穫の季節



深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム  
夜のライトアップ

### まちのイメージ ③

## 活力とにぎわいにあふれるまち (産業振興)



おねぎ女子！



元気に収穫

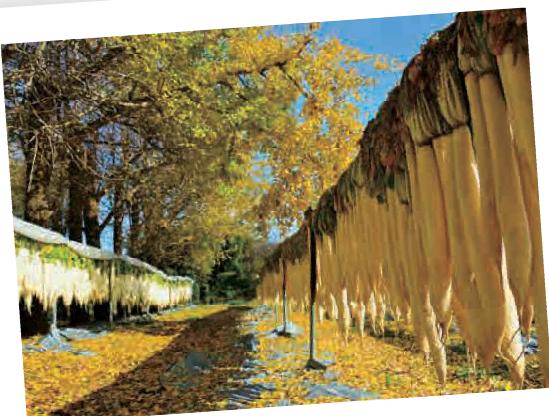




産業祭に行ってきたよ！



オープンを記念してパチリ！



寒風ダイエット



早朝、深谷テラス ヤサイな  
仲間たちファームにて



## 3-1

## 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり

## 「3-1 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり」が目指すビジョン

地場産業の核であった藍産業の品質向上や生産ノウハウ、情報共有などを通じて、地元の産業振興に尽力した栄一の姿勢を模範としながら、以下の取組を実践します。

時代の変化に対応した安定的、効率的な農業経営を支援するとともに、農畜産物の認知度向上の取組を通じて、深谷産ブランドのイメージ向上を図り、活力ある農業経営に繋げます。  
これにより、農業の生産力・競争力が向上し、農畜産物のブランド化が進むまちを目指します。



ねぎ畑の管理



深谷の野菜



農業王国ふかやマルシェ

## 3-1

## 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり

## 3-1-1

農地の保全・活用と安定した農業経営の支援 ..... 106

## 3-1-2

農畜産物の販売流通体制の充実 ..... 108



## 深谷市が目指すSDGsのゴール(農業分野)



### ②飢餓をゼロに(経済、社会)

食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



### ④質の高い教育をみんなに(社会)

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習\*の機会を促進する



### ⑧働きがいも経済成長も(経済、社会)

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用を推進する



### ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう(経済)

強靭なインフラ\*を整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

## 17 パートナーシップで目標を達成しよう



### 市民や事業者のみなさんが取り組めること

- 地元でとれた農畜産物を積極的に購入・消費する。
- 自分で野菜をつくり、食べる喜びや楽しさを味わう。
- 農業従事者が新規就農者に農業のノウハウを伝える。
- 自分が所有する農地を適正に管理する。



## 渋沢栄一\*が遺した功績や精神・考え方など(農業分野)

- 栄一の生家は代々農業を営んでおり、麦作のみならず、養蚕や藍染の原料である藍玉の製造・販売も手掛けて財を成しました。栄一は少年時代に、家業を手伝う過程で農作物の目利きなど、物の本質を見極める大切さや、商売の駆け引きや面白さを体験する機会を得ています。
- 22歳の時に栄一は、藍農家を招いて宴会を開き、相撲番付に倣った藍の番付を作って披露し、大閥を上座に座らせて藍づくりのノウハウを語らせました。これは品質を競わせるだけでなく、生産技術の情報を皆で共有することで地元の産業を盛り上げようという戦略であり、皆が良い社会を目指した、後の栄一につながる抜群の企画力を発揮しました。
- また、故郷の人々が農村振興として、地域の特性に応じた生産を拡大するために産業基本調査を行い、これに基づき、八基村の耕地整理を計画的に実施することを支援しました。
- 食料生産増加のため、化学肥料の国内製造を目指した栄一は、高峰譲吉らと協議を重ね、明治20(1887)年、東京人造肥料会社を設立し、安定した肥料によって農業を後押ししました。



# 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援

## 5年後の 目指す姿

農地の保全と有効利用が進むとともに、  
担い手への農地の集積・集約などが進んでおり、  
時代の変化に柔軟に対応した安定的、効率的な農業経営が行われています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
耕作放棄率	3.10%	3.59%
市内全農地面積のうち、耕作放棄の状態となった農地面積の割合であり、農地の保全と有効活用が行われているかを測る指標です。なお、耕作放棄率については、令和元(2018)年度から令和3(2021)年度見込の2年間において、年平均4.24%増加する傾向にありますが、本計画の期間においては、増加率を半減させ2.12%とし、増加率を抑制する目標値を設定しています。		
農業法人数	98法人	128法人
農業を営む法人の数であり、農地の保全・活用と安定した農業経営の支援が行われているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

高齢化や担い手不足による農業就業人口の減少や耕作放棄地\*の増加、農業産出額の低下などが進んでいます。こうした中、令和元(2019)年度より人・農地プランの実質化のもと、効率的に農地利用などを行うため、農地の集積・集約化が進められています。

## 深谷市の現状と課題

- 効率的で安定した農業経営を促進するため、農地の集積・集約、農業生産基盤の整備を推進していますが、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加、農業水利施設の老朽化などが進んでおり、その対応が求められています。
- 農業の担い手確保のため、新規就農への支援を実施していますが、農業者の高齢化や担い手不足、農畜産物の輸入自由化など農業を取り巻く環境の変化に対応した取組が必要となっています。今後は、意欲と能力を備えた農業の担い手を確保し育成するとともに、農業経営の安定化に向けた効率化や高度化の取組が必要となっています。



## 取組方針

### 1 農地を大切に守り有効的に使えるようにします

計画的な整備を促進し、優良農地の保全を図るとともに、農業用排水路や道路などの農業生産基盤を整備、更新するほか、農業用ため池の耐震化対策などの整備を推進します。また、埼玉県農地中間管理機構と連携し、規模拡大などを行う担い手への農地の貸し付けや、耕作放棄地の発生防止及び解消のため、担い手による農地の集積・集約を促進します。

#### 【主な事業】

農業振興地域整備推進事業、農業基盤整備事業、遊休農地対策事業

### 2 安定した農業経営と担い手の確保・育成を支援します

関係機関と連携し、収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供、法人化に向けた支援を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援を行います。また、新規就農希望者の速やかで確実な就農を支援し、担い手の確保に取り組みます。

#### 【主な事業】

農業施策推進事業、担い手育成支援事業

## 関連する個別計画

- 深谷市産業振興計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>2 飢餓をゼロに</b> 	<b>4 質の高い教育をみんなに</b> 	<b>8 働きがいも経済成長も</b> 	<b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 
ターゲット	3	4	1	2



深谷の農業 ブロッコリーの収穫



深谷の農業 とうもろこしの収穫



深谷の農業 深谷ねぎの収穫

# 農畜産物の販売流通体制の充実

## 5年後の 目指す姿

市内産農畜産物の認知度向上の取組により、深谷産ブランドに対する消費者のイメージが向上し、活気のある農業経営が行われています。また、イベントなどを通じて市外在住者にも魅力や価値を伝え、新鮮で安全・安心な農畜産物を提供しています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
農業産出額	309億円	359億円
農林水産省・市町村別農業産出額(推計)において毎年度示される額であり、農畜産物の販売流通体制が充実しているかを測る指標です。本計画策定時点(令和4(2022)年5月現在)において発表されている最新の数値が令和2(2020)年のものとなることから、本指標の現状値については令和2(2020)年の値を採用します。		
市外の店舗で深谷産農畜産物の販売をする機会がある割合	60.8%	62.0%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売をする機会がある」と答えた市民の割合であり、農畜産物の販路が拡大されているかを測る指標です。		

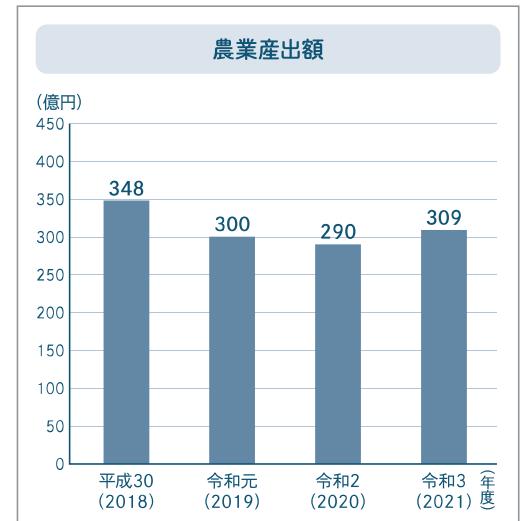
## 施策を取り巻く社会状況

食の安全・安心に対する関心や産地などに関するブランド志向の高まりにより、消費者ニーズに合わせた農畜産物の流通、販売が求められています。

また、生産者の顔が見える対面販売やインターネットを通じた販売など、生産者の販売形態の多様化が進んでいます。

## 深谷市の現状と課題

- 消費者が市内産農畜産物を継続的に購入するために、引き続き安全・安心な農畜産物を安定的に供給する必要があります。
- 「深谷ねぎ」などの深谷産ブランドが広く消費者に認識されていますが、今後も関係機関と連携しながら、生産者の意識と技術の向上により市場における差別化を図り、深谷産ブランドをより強固にする必要があります。
- これまで販売促進イベントの支援などを積極的に推進してきましたが、今後も引き続き農畜産物の消費拡大を目指し、生産者が直接販売する機会を増やすなど販売形態に応じた販路拡大を促しつつ、消費者に安全・安心を伝えることが求められています。



## 取組方針

### 1 農畜産物の安全・安心の向上を目指します

消費者に安全な農畜産物を提供するため、関係機関と連携しながら、生産者に対して農薬や化学肥料の適正な使用を周知するとともに、家畜の防疫に取り組みます。また、農業用廃資材類の適正な処理を推進し、消費者の信頼を高める取組を行うとともに、生産者の顔が見える安全・安心な農畜産物の販売流通を促進します。

**【主な事業】**

農産物安全安心対策事業、畜産振興対策事業

### 2 「深谷産」のブランド化推進と各種メディアなどを通じたPRに取り組みます

良質な農畜産物が市場において優位性を発揮できるように、「深谷産」のブランド化を推進します。また、安全・安心な深谷産農畜産物が市外の消費者に広く浸透するよう、各種メディアやSNS\*、深谷グリーンパークなどを通じたPRを行います。

**【主な事業】**

特産物PR事業、深谷グリーンパーク管理運営事業

### 3 消費者ニーズに対応したさまざまな販売形態を促進します

消費者のニーズにあった農畜産物を提供するため、生産者、関係団体と連携しながら農畜産物の生産、販売、流通を促進します。また、生産者が直接販売することができる場を提供するとともに、生産者によるインターネット通販や契約販売など、さまざまな販売形態に応じた販路拡大を促進します。

**【主な事業】**

特産物PR事業、農産物振興対策事業、深谷グリーンパーク管理運営事業

## 関連する個別計画

- 深谷市産業振興計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
ターゲット	1	2



農業王国ふかやマルシェ



## 3-2

## 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

## 「3-2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり」が目指すビジョン

栄一が重視した、個人の小さな資本を集めて多くの人々のためになる事業を行うという「合本主義」は、公共の利益につながるという考えを大切にしながら、以下の取組を実践します。

市・事業者・経済関係団体などが一体となって、市内事業者の支援や就労環境の整備促進のほか、農業をはじめとした深谷市の強みを生かし、農業の価値を高めることにより、さらなる発展を目指します。

これにより、活力やにぎわいを創出し、誰もが働き続けることができるまちを実現します。



深谷市産業祭



深谷テラスパーク



ベジタブルテーマパークマルシェ

3-2

## 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

3-2-1

## 商工業の振興

112

3-2-2

## 観光資源の整備と活用

114

3-2-3

## 就労環境の整備

116

3-2-4

## 産業価値の創出

118



## 深谷市が目指すSDGsのゴール(商工業分野)



### ⑧働きがいも経済成長も(経済、社会)

すべてのための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用を推進する



### ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう(経済)

強靭なインフラ\*を整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

17

パートナーシップで  
目標を達成しよう

### 市民や事業者のみなさんが取り組めること

- ふかやの魅力ある観光資源などをSNS\*で発信する。
- 市内のイベントなどに積極的に参加する。
- 企業同士が事業分野を超えて連携した取組を推進する。



## 渋沢栄一\*が遺した功績や精神・考え方など(商工業分野)

- 栄一は、生涯に約500の企業の設立や運営に関わりました。国が認めた初めての銀行である第一國立銀行(現在のみずほ銀行)、抄紙会社(現在の王子製紙)をはじめ関わった会社の業種は、金融、交通、商工業、鉱業、農林水産、観光サービス業など多岐に渡ります。
- 栄一が設立に関わった富岡製糸場は、日本初の官営模範器械製糸場で、明治5(1872)年に設立されました。栄一は大蔵省時代に担当となり、大隈重信や伊藤博文、尾高惇忠らとともに設立の準備を行いました。当時としては世界でも有数の規模の工場で、全国から数百人の工女が集まりました。
- 栄一は自らの思想や行動を語る時「合本法(合本主義)」という言葉を用いています。合本主義は、一人ひとりの小さな資本を合わせ、多くの人々のためになる事業を実施することで、公共の利益を生み出す方法と考えていました。
- さらに、栄一は、明治期に不平等条約改正に向けての世論形成の場をつくり、業種を超えた情報・意見交換の場として、実業界の地位向上につなげることなどを目的として、東京商法會議所(現在の東京商工会議所)を設立し、初代会頭を務めました。



# 商工業の振興

## 5年後の 目指す姿

市、事業者、経済関係団体などが一体となって、外部環境の変化に対応しつつ、市内の事業所では安定した経営が行われています。また、市外からの新たな事業所や、新たに起業・創業する事業者が増加しています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
法人市民税額	12億7,000万円	14億2,000万円
市内の法人市民税額(均等割と法人税割の合計)であり、商工業が振興されているかを測る指標です。		
新たに誘致した企業数(累計)	62社	72社
市内への新たな投資総額が1億円以上となる企業を対象に、工場立地促進事業者指定を行う件数であり、企業の誘致及び留置が行われているかを測る指標です。		

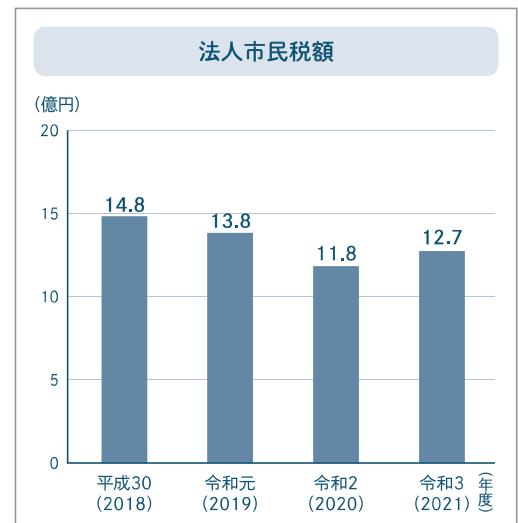
## 施策を取り巻く社会状況

全国的にみて、倒産件数は低水準となっていますが、経営者の高齢化や事業承継などが課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、飲食、観光関連業態は著しい影響を受けました。一方、いわゆる巣ごもり消費に対応した業態は好調であり、消費行動の変化への対応が求められています。

## 深谷市の現状と課題

- 中小の事業者が日々の経営活動で感じる疑問などを経済関係団体などと協力しながら解決できるよう、相談体制を整えているほか、資金需要に応えられるよう、融資制度を整えています。今後も、経営の安定化に向け、事業者に対する支援が必要となります。
- 商工業の振興を目的に、市内産業を紹介するイベントの開催やPR活動、中心市街地及び商店街の活性化に取り組んでいます。今後も、活力ある商工業の振興を目指すため、市、事業者、経済関係団体などが一体となって推進する必要があります。
- 新たな企業の誘致や市内企業の留置のために、深谷市の相談体制を整えています。また、他企業とのより良い交流を促し、事業活動が活発になるよう支援するとともに、工場などの新設、拡張を支援しています。これらの取組を通じ、今後も企業の定着と進出を促していく必要があります。
- 経済関係団体などと協力しながら、新たな起業を支援しています。今後も、女性や高齢者を含め意欲ある方の起業を支援し、事業者の増加を促していく必要があります。



## 取組方針

### 1 中小企業経営の安定化と成長を支援します

市内の中小企業が安定した経営基盤を備え、事業を継続し、成長していくよう、事業者が経営について相談できる体制の整備や、環境変化に対応できるよう支援を行います。また、必要な運営資金を確保できるよう制度を運営します。

#### 【主な事業】

中小企業融資あつせん事業、中小企業経営安定化支援事業

### 2 商工業の活性化や商店街のにぎわいづくりを支援します

市内の事業者をはじめ、経済関係団体などと協力しながら、深谷市の商工業の活性化を図るため、市内産業の製品やサービスの高付加価値\*化を支援するとともに、イベントの開催などを通じて市内事業所や産業を市内外にアピールします。

意欲的な小売店舗や商店街とともに、中心市街地に位置する商店街の活動が活発化するよう支援します。また、にぎわいをつくり出すため、中心市街地の空き店舗対策を推進します。

#### 【主な事業】

商工業活性化支援事業、中心市街地及び商店街活性化推進事業

### 3 企業誘致・留置に取り組みます

一定条件の工場などの新設、増設を支援し、市内への企業の誘致、市内で活動する企業の留置を図ります。また、市内事業所が活動しやすくするため、市への要望などをしやすいよう、緊密な関係を築きます。また、市内事業所間の連携強化を図るため、事業所同士の交流を促進するなど、市内全体で盛り上げるよう活動します。

#### 【主な事業】

企業誘致及び立地促進事業、市内企業満足度向上対策事業、企業立地関連促進事務

### 4 起業しやすい環境づくりに取り組みます

経済関係団体などと連携しながら、起業を希望する方に必要な情報やノウハウなどを提供し、事業開始時の負担を軽減するとともに、起業後の事業定着に向けた取組を支援します。

#### 【主な事業】

起業家支援事業

## 関連する個別計画

- 深谷市産業振興計画  
(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>8 働きがいも 経済成長も</b>	<b>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</b>
ターゲット	1, 3	1, 2, 3



# 観光資源の整備と活用

## 5年後の 目指す姿

観光資源を発掘・活用し、花園IC拠点地区周辺エリア及び各道の駅などを観光情報の拠点として来訪者の市内回遊を促すことにより、深谷市の認知度が高まり、観光客が増加しています。また、市民と来訪者の交流が活性化し、まちに活気が生まれています。

## まちづくり指標

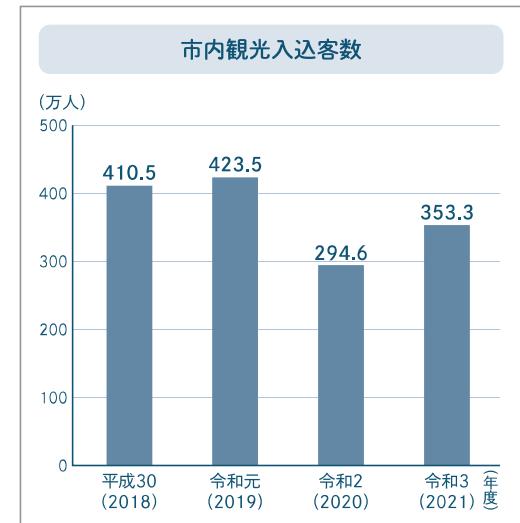
指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
市内観光入込客数	353万3,000人	1,118万4,000人
埼玉県が実施する観光入込客数調査において把握する数値であり、観光資源の整備と活用が行われているかを測る指標です。		
年間延べ宿泊者数	11万6,000人	12万8,000人
観光予報プラットフォームにおいて把握する市内年間延べ宿泊者数であり、観光資源の整備と活用が行われているかを測る指標です。		

## 施策を取り巻く社会状況

国は、令和2(2020)年の訪日外国人観光客数の目標を4,000万人としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実績はその10分の1程度となるなど、全国の観光業は極めて深刻な打撃を受けました。コロナ禍の収束を見据え、新しい生活様式のもとで、観光による交流人口の増加を図る動きも活発になっています。

## 深谷市の現状と課題

- 市内の観光スポットや3カ所ある道の駅は多くの来訪者でぎわっています。また、大河ドラマ放送を機に、渋沢栄一\*の生誕地などの関連施設のほか、畠山重忠\*ゆかりの地など、深谷市の魅力ある観光資源の活用が図られたことで、深谷市の認知度が高まっており、今後も、来訪者の増加に向けたさらなる取組の推進が必要です。
- 観光客を増加させるためには、地域の特色や魅力を活かす取組が大切です。地域に定着した体験型プログラム「深谷えん旅」事業では、通年化への移行により、年間を通して参加事業者や実施プログラムを提供できるようになりました。今後は、花園IC拠点地区などへの来訪者の市内回遊を促す仕組みを構築し、市内に滞在することで、深谷市の魅力をさらに感じてもらうことが大切です。
- 花園IC周辺のアウトレットモールや深谷テラスが令和4(2022)年に開業し、広域からの来客により賑わいのある拠点が形成されています。今後、深谷テラスでは、深谷市の農業や観光に資する取組を関係団体と連携しながら進めることができます。



## 取組方針

### 1 「ふかや」の認知度を高めます

「ふかや」の魅力を戦略的に発信するため、メディアなどの多様な媒体を活用し、効果的な情報発信を行います。さらに、花園IC周辺のアウトレットモール、深谷テラス及びJR深谷駅などの各鉄道駅、各道の駅を観光情報の発信拠点とし、関係機関と連携しながら観光情報への多様なニーズに対応します。

**【主な事業】**

地域産業活性化事業、道の駅管理事業

### 2 来訪者が市内に滞在できる回遊策に取り組みます

市内を訪れる方に深谷の魅力を最大限に堪能してもらうため、史跡などの観光地や野菜や物産などを購入できる場所を巡る市内回遊の情報を提供するとともに、観光施設の充実や観光資源を活用した体験型イベントプログラムの充実を図ります。

**【主な事業】**

観光振興事業

### 3 多様な主体との連携による観光資源の活用を通じて地域の活性化を図ります

市内産業をテーマとしたイベントや体験型事業などの実施により、農商工団体と連携しながら観光資源の整備と活用を図ります。さらに、アウトレットモールをはじめとした花園IC拠点地区などの集客力を生かし、農業・観光・商工の情報発信などを行うとともに、観光資源やイベントなど周遊する観光ルートを設定し、市内への観光や消費行動につなげます。

**【主な事業】**

物産振興事業、道の駅管理事業

## 関連する個別計画

- 深谷市産業振興計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
ターゲット	1, 9	2



深谷市産業祭



## 就労環境の整備

### 5年後の 目指す姿

就労意欲のある市民の働く機会が確保され、市内の雇用が安定しています。また、多様な働き方への対応など、市内労働者の労働環境が向上し、仕事と生活の調和が図られています。

### まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
有効求人倍率	1.12倍	1.38倍
熊谷公共職業安定所管内における有効求職者数に対する有効求人数の割合であり、意欲がある人が働くことのできる環境が整っているかを測る指標です。		
仕事と生活のバランスが取れている市民の割合	70.3%	81.0%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「休暇の取得状況や家族と過ごす時間の確保などは十分で、自身または家族の仕事と生活のバランスはとれている」と答えた市民の割合であり、就労環境が整っているかを測る指標です。		

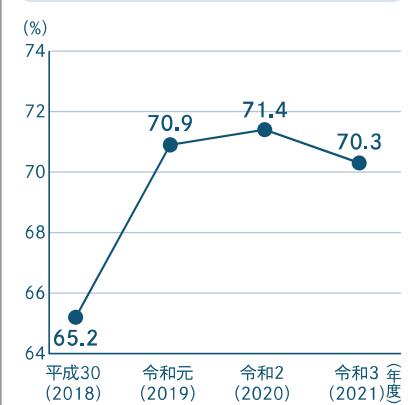
### 施策を取り巻く社会状況

少子高齢化の進行により、労働力人口の減少が進む中、平成31(2019)年4月から働き方改革関連法が順次施行され、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現が求められています。また、パートや派遣労働者などの非正規雇用の待遇改善など、労働者を取り巻く環境は大きく変化しています。

### 深谷市の現状と課題

- 市内企業への就労を促進するため、国と連携し、深谷市ふるさとハローワークを設置し、また、就職相談や就職支援セミナーの開催などを県と連携し行っています。今後も引き続き、市民の就労実現に向けた支援を行うとともに、企業や関係団体などと連携を図りながら、市内企業の魅力の発信と就業の定着に向け、各企業における事業の方向性や求める人材像などについて、求職者が企業と対話できる機会の確保が必要です。
- 仕事と生活の両立の問題により将来への不安を感じ、就労を断念することもあるため、労働者の福利厚生の維持向上を図るなど、労働環境の改善に向けた支援がこれまで以上に必要となっています。

仕事と生活のバランスが取れている市民の割合



## 取組方針

### 1 意欲のある人が働くことのできる環境を整えます

ハローワークなどの関係機関と連携しながら、すべての求職者に対して就業に向けた情報や相談の場を提供するほか、人材のマッチング支援などにより、市内企業への就労の定着を図ります。また、関係部署と連携しながら、年齢や性別など一人ひとりが個性を活かし就労できるよう、幅広い支援を進めます。

**【主な事業】**

就業支援事業

### 2 多様な働き方を支援します

労働者が安心して働くことのできる環境を整えるため、県や労働関係機関と連携しながら、働きがいのある仕事として、収入の安定や仕事と生活の調和に向けた中小企業における福利厚生の充実などの必要な支援を行います。また、多様な働き方を支援するため、県と連携し各種セミナーを開催するなど、情報提供や意識啓発を図ります。

**【主な事業】**

勤労者福祉向上支援事業、シルバー人材センター補助事業

## 関連する個別計画

- 深谷市産業振興計画(令和5(2023)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	8 働きがいも 経済成長も
ターゲット	5, 6



合同企業説明会



# 産業価値の創出

## 5年後の 目指す姿

深谷市の産業の強みである農業を生かした産業プランディングにより、「儲かる農業都市ふかや」の実現に向けた官民連携の取組が数多く展開され、深谷市の産業が持続的に発展しています。

## まちづくり指標

指標名	実績値(令和3(2021)年度)	目標値(令和9(2027)年度)
アグリテック*関連事務所設置数(累計)	3件	10件
深谷市内において、アグリテック企業がどれだけ集積したのかを測る指標です。		
地域通貨流通額	1.0億円	4.0億円
深谷市内において、地域通貨ネギー*がどの程度利用されているかを測るための指標です。(※子育て支援などの行政ポイント分や、キャンペーン時などのチャージ額を除いた数字です。)		

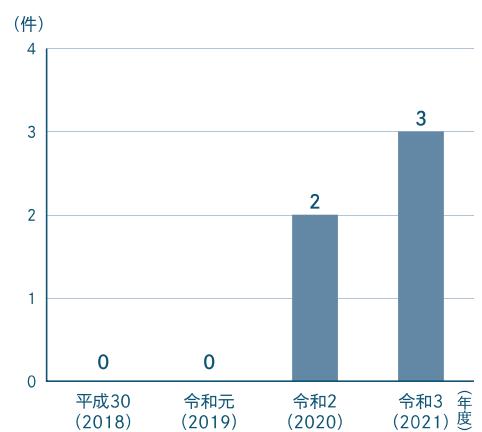
## 施策を取り巻く社会状況

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によれば、我が国の生産年齢人口は令和22(2040)年には約6千万人まで落ち込みます。税収の落ち込みとともに産業の担い手不足が懸念されており、効率と付加価値\*が高い、魅力的な産業の創出に向けた取組が全国各地で行われています。一方で、近年の情報通信技術の発展は目覚ましく、これらを活用した新たな産業のあり方が国内外において模索されています。

## 深谷市の現状と課題

- 平成30(2018)年度に定めた「深谷市産業プランディング推進方針」に基づき、農業を核とした産業プランディング「儲かる農業都市ふかや」を実現するための取組として、「野菜を楽しめるまちづくり戦略」「アグリテック集積戦略」「地域通貨導入戦略」を相互に連携させながら継続的に展開しています。これら3つの取組は、官民連携の手法を用いた先進的な試みとして、全国から注目を集めています。「野菜を楽しめるまちづくり戦略」については、市内観光回遊を促すため、野菜や農業をテーマとして観光の振興を図っていくことが重要です。
- 「アグリテック集積戦略」については、農業課題を解決する技術などをもった企業を誘致するための取組を行うとともに、農業の持続性を高めることが重要です。
- 「地域通貨導入戦略」については、地域内の経済循環を進めるために認知度の向上や流通量の拡大を図っていく必要があります。

アグリテック関連企業事務所設置数



## 取組方針

### 1 農畜産物をテーマとした観光回遊を推進します

地域の生産者や事業者と連携し、花園IC周辺のアウトレットモールや深谷テラスへの来訪者を市内観光回遊へとつなげる取組として、野菜や農業を観光資源としたベジタブルテーマパークフカヤを推進します。

これにより、市内各所への人の流れを生み出し、地域産業の活性化を促進します。

**【主な事業】**

産業価値向上事業

### 2 農業課題解決に向けた企業を深谷市に集めます

農業課題を解決する技術をもったアグリテック関連企業を深谷市に集めるため、アグリテックと生産者のマッチングを行い、農業現場における課題解決を推進します。こうした活動を通じて、アグリテックが実現できるまちづくりに取り組みます。

**【主な事業】**

アグリテック集積事業

### 3 地域通貨の活用と普及を推進します

デジタル技術を用いた地域通貨の活用と普及を継続的に推進します。これにより市内で利用されるお金の割合を高め、地域課題の解決を図り、人口減少社会において、元気で活発な地域経済の実現に向けた取組を推進します。

**【主な事業】**

地域通貨導入事業

## 関連する個別計画

- 野菜を楽しめるまちづくり戦略(平成30(2018)年度～令和9(2027)年度)
- アグリテック集積戦略(平成30(2018)年度～令和9(2027)年度)
- 地域通貨導入戦略(令和3(2021)年度～令和9(2027)年度)

## SDGsとの関連：主に関係するゴール

ゴール	<b>8 働きがいも 経済成長も</b> 	<b>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</b> 
ターゲット	1, 2, 9	1, 2

